

2027 年度

早稲田大学大学院法学研究科

法曹養成専攻(法科大学院)

【専門職学位課程】

入学者選抜試験要項



早稲田大学

【出願前に必ず確認してください】

出願期間や入学手続期間等、全ての手続において、システムトラブル等も含め、いかなる理由であっても、締切期間外での受付は一切できません。また、本法科大学院が指定する方法以外で手続した場合や手続に不備があった場合にも、不受理となります。出願・入学手続の項目は多岐にわたりますので、余裕をもって、手続を行ってください。出願期間最終日やその他の各手続期間最終日での手続は期間内に手続が終わらなくなる可能性がありますので、締切日より前に早めに手続を行うことを強く推奨します。また、各手続期間内に手続ができなかったことに関する問い合わせ等には一切お答えせず、不受理となり、受験および入学を認めません。この点、ご了承の上、各手続を行うようにしてください。各出願手続が完了しているかどうかは「8. 出願の手順」内に記載した<各手続完了の確認方法>を参照の上ご自身で確認してください。

<教育研究の目的>

早稲田大学大学院法学研究科法曹養成専攻（法科大学院）は、法律学の専門知識を具え、それを批判的に検討し、さらに発展させる創造的な思考力と優れた交渉・説得の能力を持つとともに、幅広い教養と高い人権感覚をもって社会に生起する法律問題を的確に分析し、解決することのできる志の高い法曹、すなわち社会をリードする質の高い法律専門職の養成を目的とする。早稲田大学が、東京専門学校法律学科の創設以来長きにわたり、法的素養を身に付けた有為な人材を国内外に多数輩出してきた歴史と実績を受け継ぎ、多様な個性が切磋琢磨する環境の中で、時代を切り拓き、世界のあらゆる地域、さまざまな分野で活躍できる優れた法律専門職を養成する。

<入学者選抜の方針（アドミッション・ポリシー）>

（応募を期待する学生）

早稲田大学では、『学問の独立』の教育理念のもとで、一定の高い基礎学力を持ち、かつ知的好奇心が旺盛で、本学の理念である進取の精神に富む、勉学意欲の高い学生を、わが国をはじめ世界から多数迎え入れる。

（審査方法）

法曹養成専攻においては、優れた法律家として実社会で活躍できる人材の発掘を第一の目標に、専門知識はもちろんのこと、個々の受験生のバックグラウンドや特徴をも精査し、その資質や能力を総合的に評価し選抜を行う。

■ 出願後の住所変更について

出願後から入学までの間に住所を変更する予定、またはすでにした場合は、以下のURLより住所変更手続きをお願いします。

<https://forms.cloud.microsoft/r/R93Bd4NQMr>

※郵便局での転送手続きも忘れずに行ってください。

※住所変更手続きを怠ったため書類到着が遅れたことを理由に、各手続日程を延長することはいたしません。また、そのことにより、各手続期間内に手続きが完了しない場合、出願や入学等を認めません。

目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 0. 注意事項 | 5 |
| 1. 入試制度について | 6 |
| (1) 特別選抜 | 6 |
| (2) 一般選抜 | 6 |
| 2. 日程 | 8 |
| 3. 募集人員 | 9 |
| 4. 出願期間 | 9 |
| 5. 出願資格 | 10 |
| (1) 特別選抜(5年一貫型) | 10 |
| (2) 特別選抜(開放型) | 10 |
| (3) 一般選抜(法学未修者試験・法学既修者試験共通) | 10 |
| 6. 障がい等のある方への受験・就学上の配慮 | 12 |
| 7. 入学検定料および併願パターン | 12 |
| 8. 出願の手順 | 13 |
| (1) Web出願申請について | 14 |
| (2) 入学検定料の支払いについて | 21 |
| (3) 出願書類(紙)について | 25 |
| 9. 受験 | 31 |
| (1) 受験票 | 31 |
| (2) 選考 | 31 |
| (3) 試験時間割 | 32 |
| (4) 受験上の注意(全試験共通) | 33 |
| (5) 早稲田大学入学試験受験に際しての注意事項 | 35 |
| 10. 合格者発表 | 38 |
| (1) 発表日時 | 38 |
| (2) 発表方法 | 38 |
| (3) 合格証明書および入学手続書類の交付 | 38 |
| 11. 入学手続 | 39 |
| 12. 学費・諸会費 | 40 |
| 13. 不合格者への入試成績の開示について | 41 |
| (1) 申請方法 | 41 |
| (2) 開示内容 | 41 |
| (3) 注意事項 | 41 |
| 14. 奨学金制度等 | 42 |
| (1) 奨学金制度の概要 | 42 |
| (2) 「稲門法曹奨学金」について | 43 |
| (3) 「池田正範奨学金」について | 45 |
| (4) 「千賀修一法曹養成奨学金」について | 45 |
| (5) 「周藤保夫法曹養成奨学金」について | 46 |

| | |
|--|----|
| (6)「法曹支援奨学金」について | 46 |
| (7)日本学生支援機構奨学金(第一種・第二種)の予約採用制度について | 46 |
| (8)提携金融機関(オリコ・楽天銀行)による学費ローン制度(入学時) | 46 |
| (9)国の教育ローン(日本政策金融公庫 国民生活事業) | 47 |
| (10)教育訓練給付金制度 | 47 |
| 15. 大学コード(50音順) | 48 |
| 16. キャンパスマップ | 53 |

0. 注意事項

この「入学者選抜試験要項」には、出願から入学までの事項が多岐にわたって記載してありますので、熟読の上その指示に従ってください。不備があった場合、正しく受理されないことがありますので、内容に誤りがないように志願者本人の責任・判断により、Web出願申請、出願書類等の準備をしてください。

試験の評価方法等に関する質問は受け付けません。

本入試要項では、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ、スマートグラス、ワイヤレスイヤホン等（Bluetooth、Wi-Fi、データ通信等、日時・時刻以外の情報を送信、受信、または送受信が可能な機能が搭載された機器）をすべて含めて「携帯電話等」と表記しています。

<個人情報の取り扱いについて>

本学では、志願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格者発表、入学手続およびこれに附随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。また、上記業務の全部または一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。本学に提出された書類・資料・論文および提出された情報等（「本提出書類等」といいます。）につき、その真正性等について、本学が発行元、提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすることがあります。志願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとします。これらの他、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。

<被災地の志願者に対する減免制度>

本学では、被災地（災害救助法適用地域）の志願者に対して、受験・入学の機会をできるかぎり保障するため、被災の状況により、入学検定料、登録料、学費・諸会費の減免制度を用意しております。2026年4月1日（入学予定日の1年前）以降に災害救助法が適用された市区町村において被災された方で、減免を希望される方は、以下の本学入学センターWebサイトをご覧ください。

<https://www.waseda.jp/inst/admission/others/exemption/>

<感染症への対応について>

基本的な感染予防対策（手洗い等の手指衛生や咳エチケット等）を徹底してください。なお、本学ではマスクの着用は個人の判断に委ねます。

学校保健安全法で出席の停止が求められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、風疹等）に罹患し、治癒していない場合は、他の受験生や監督員への感染の恐れがあるため、受験をご遠慮ください。また、これらに該当しない場合でも、試験当日までに発熱等の症状がある場合は、かかりつけ医等に相談のうえ、当日の受験を見合わせる等、その指示に従ってください。

欠席した場合でも、本法科大学院が特別な対応を公表した場合を除いて、追試験の実施や入学検定料の返還は行いません。

※感染症への対応を含め、何か特別な対応をとる場合には、本法科大学院Webサイトに掲載しますので、あわせて確認するようにしてください。

<https://www.waseda.jp/follow/gwls/>

1. 入試制度について

(1) 特別選抜

文部科学大臣より認定を受けた法曹養成連携協定に基づき、設置された連携法曹基礎課程（以下、法曹コース）修了見込みの者を対象とした入学者選抜試験です。特別選抜には「特別選抜（5年一貫型）」、「特別選抜（開放型）」の2つの選抜方法があります。

法学既修者として2年短縮課程に入学する者を選抜します。この試験の合格者は、1年次配当の法律基本科目を修得したものとみなされ、2年間の在学で法科大学院の課程を修了することが可能となります。

※特別選抜（5年一貫型）を第1希望とし、特別選抜（開放型）を第2希望とする場合に限り、特別選抜の併願を認めます。

※特別選抜と一般選抜を併願し、特別選抜に合格した場合、一般選抜の結果にかかわらず特別選抜の法学既修者としてのみ入学を認めます。

※特別選抜（5年一貫型）とその他選抜試験の併願者が特別選抜（5年一貫型）に合格した場合、法律科目論述試験は審査対象外となります。

(2) 一般選抜

法学未修者試験は、法学未修者として3年標準課程に入学する者を選抜します。この試験において、本法科大学院の定める「社会人」または「法学部以外の学部出身者」に該当する者を、概ね15名を目標に優先して選抜します。

法学既修者試験は、法学既修者として2年短縮課程に入学する者を選抜します。この試験の合格者は、1年次配当の法律基本科目を修得したものとみなされ、2年間の在学で法科大学院の課程を修了することが可能となります。

※法学既修者（2年短縮課程）を第1希望とし、法学未修者（3年標準課程）を第2希望とする場合に限り、法学未修者試験と法学既修者試験の併願を認めます。法学既修者試験に合格した場合には、法学未修者試験の結果にかかわらず、法学既修者としてのみ入学を認めます。

※併願した場合、いずれか一方の試験の評価がもう一方の試験に影響することはありません。

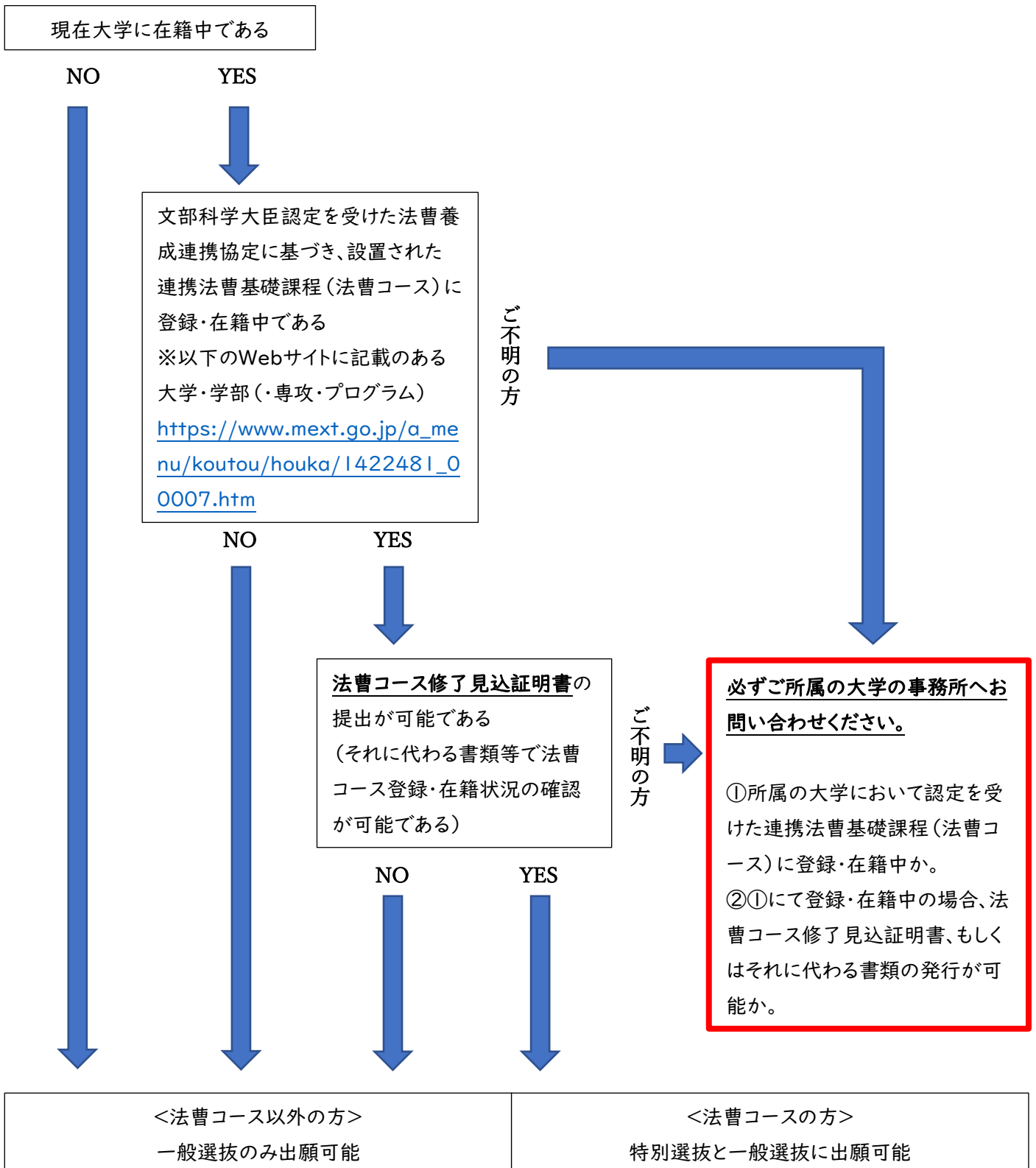
※出願にあたって出身学部は問いません。

<法曹コースについて>

法曹コースとは、法学部等を設置する大学が、法科大学院と連携して法科大学院の既修者コースの教育課程（本法科大学院における2年短縮課程）と一貫的に接続する体系的な教育課程を編成し、法曹志望者や法律の学修に関心を有する学生に対して、学部段階からより効果的な教育を行うものです。法曹コースは各大学の学部設置されているコースとなり、法科大学院に設置されているものではありません。詳細については、文部科学省HPをご参照ください。

特別選抜への出願資格があるかどうかの判断は次ページの<出願資格確認 フローチャート>を必ずご確認ください。本法科大学院が正当と認める場合を除き、法曹コース修了見込でない場合には、特別選抜に出願することはできません。なお、既に大学を卒業している場合には、以前大学在学中に法曹コースを修了していた場合でも、特別選抜の出願資格はありません。

<出願資格確認 フローチャート> ※出願資格の詳細は「5. 出願資格」を確認してください



2. 日程

| 特別選抜 (5年一貫型) | 特別選抜 (開放型) | 一般選抜 (法学既修者試験) | 一般選抜 (法学未修者試験) |
|-----------------------------------|--------------------------------------|--|----------------------------------|
| 出願期間:2026年6月1日(月)~6月11日(木) | | | |
| ↓ | ↓ | ↓ | ↓ |
| 面接試験 2026年7月4日(土) | | | |
| ↓ | | | |
| 合格者発表 2026年7月10日(金) | | | |
| ↓ | ↓ | ↓ | ↓ |
| | 法律科目論述試験 (民・刑・憲) 2026年8月29日(土) | 法律科目論述試験 (民・刑・憲・民訴・刑訴・商) 2026年8月29日(土) | 論述試験 (小論文試験) 2026年8月30日(日) |
| | ↓ | ↓ | ↓ |
| | 合格者発表 2026年9月18日(金) | | |
| | ↓ | ↓ | ↓ |
| 第一次入学手続期間 2026年7月13日(月)~24日(金) | 第一次入学手続期間 2026年9月24日(木)~10月2日(金) | | |
| 第二次入学手続期間:2027年2月上旬予定 | | | |

※各手続の詳細については、本要項の該当ページを参照してください。

※第二次入学手続期間は予定です。詳細については別途合格者にお知らせいたします。

※Web出願申請の入力開始可能時刻は、2026年6月1日(月)10:00からとなります。

※Web出願申請の入力期限は、2026年6月11日(木)23:59までとなります。

※出願書類(紙)の郵送期限は、2026年6月11日(木)【締切日消印有効】となります。

※いかなる理由であっても出願締切後の手続は認められません。出願手続は余裕をもって進めてください。特にWeb出願申請の項目は多岐にわたりますので、締切最終日の申請はおすすめしません。**システムトラブル等の理由も認められません。出願書類についても郵送状況も含め、いかなる理由であっても、出願締切後の受領はできません。**

3. 募集人員

| 専攻 | 課程 | 試験形態 | | 入学課程 | | |
|------------|-------------|------|------------------------|---------------|-----------------------------|----------------------------|
| 法曹養成 専攻 | 専門職 学位課程 | 特別選抜 | 特別選抜(5年一貫型) (40名以内) | 併願可能 80名以内 | 法学既修者 【2年短縮課程】 (160名) | |
| | | | 特別選抜(開放型) (約40名) | | | |
| | | 一般選抜 | 併願可能 法学既修者試験 (約80名) | 併願可能 | | 法学未修者 【3年標準課程】 (40名) |
| | | | 法学未修者試験 (約40名) | | | |

※「特別選抜」の志願状況により、「一般選抜」の合格者は多くなる場合があります。

※「特別選抜」と「一般選抜」を併願する場合、「特別選抜と法学既修者試験」および「特別選抜と一般選抜併願（法学既修者試験+法学未修者試験）」のパターンのみ出願できます。「特別選抜と法学未修者試験」は併願できません。

<地方専願枠について>

地方においても十分な司法サービスの提供を担う法曹を確保することが不可欠であることに鑑み、特別選抜(5年一貫型)に出願する地方大学(※)出身者で、希望する者の内、2名を上限に選抜します。

(※) 地方大学

地方大学とは、国勢調査(平成27年)における大都市圏(札幌、仙台、関東、新潟、静岡・浜松、中京、近畿、岡山、広島、北九州・福岡、熊本の11大都市圏)以外の地域に設置されている大学に加え、大都市圏であっても当該都市圏に法科大学院が設置されていない地域(新潟、静岡、浜松、熊本の3大都市圏)とします。また、大学本部が大都市圏内に設置されている場合でも、法曹コースを開設する学部がその圏外に設置されていれば地方大学とします。

4. 出願期間

(全入試制度共通)

出願期間: 2026年6月1日(月) 10:00~6月11日(木)

※Web出願申請期限は2026年6月11日(木) 23:59まで

※出願書類(紙)の郵送期限は2026年6月11日(木)【締切日消印有効】

※いかなる理由であっても出願締切後の手続は認められません。出願手続は余裕をもって進めてください。特にWeb出願申請の項目は多岐にわたりますので、締切最終日の申請はおすすめしません。また、システムトラブル等の理由も認められません。出願書類の郵送についても郵送状況も含め、いかなる理由であっても、出願締切後の書類の受領はできません。

5. 出願資格

(1) 特別選抜(5年一貫型)

以下の条件をすべて満たす者。

1. 学部の3年次または4年次に在籍中であり、本法科大学院と法曹養成連携協定を締結した学部の連携法曹基礎課程(以下、法曹コース)に登録している者。ただし、5年次以上に在籍する者であっても、標準修了年限を超過して在籍する理由につき本法科大学院が正当と認める場合には、個別審査の上、特別選抜(5年一貫型)の対象とする。
2. 2027年3月をもって、法曹コース修了が見込まれていること。
3. 2027年3月に大学を卒業見込みの者。

※特別選抜を出願される方は出願資格1号となります。出願封筒ラベルの出願資格は1号~5号にチェックを入れてください。

(2) 特別選抜(開放型)

以下の条件をすべて満たす者。

1. 学部の3年次または4年次に在籍中であり、文部科学大臣に認定された法曹コースに登録している者。ただし、5年次以上に在籍する者であっても、標準修了年限を超過して在籍する理由につき本法科大学院が正当と認める場合には、個別審査の上、特別選抜(開放型)の対象とする。
2. 2027年3月をもって、法曹コース修了が見込まれていること。
3. 2027年3月に大学を卒業見込みの者。

※特別選抜を出願される方は出願資格1号となります。出願封筒ラベルの出願資格は1号~5号にチェックを入れてください。

(3) 一般選抜(法学未修者試験・法学既修者試験共通)

次の各号のいずれかの条件を満たす者。

1. 大学を卒業した者、または2027年3月卒業見込みの者。
2. 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者、または2027年3月までに授与される見込みのある者。
3. 外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者、または2027年3月までに修了見込みの者。
※「外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者」とは、「日本国外の正規の学校教育における「16年目の課程」を修了した者」という意味である。16年間教育を受けたかではなく、「16年目の課程を修了しているかどうか」で判断する。
4. 外国の大学やその他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者、または2027年3月までに授与される見込みのある者。
5. 文部科学大臣の指定した者。
6. 2027年3月までに大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了もしくは2027年3月までに修了見込みの者で、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者(いわゆる「飛び入学」)。

本号の出願者は、次のイ)~ロ)すべての条件を満たす場合に限り、出願を認める。

- イ) 2027年3月末において、大学在学期間が3年間に達すること。

ロ) 2027年3月末において、大学に入学以来90単位以上修得見込みであること。かつ、修得したすべての単位の6割以上の学業成績が100点満点中80点以上であること。なお、停学、休学および留学の期間は、在学期間に含まないものとする。また、入学試験に合格した後に、定める単位数及び学業成績を修めることができないことが確定した場合、入学を取り消す。

7. 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2027年3月末までに22歳に達する者。

※短期大学・高等専門学校卒業者、専修学校・各種学校の卒業者、外国大学日本分校・外国人学校の卒業者、法令上明確に規定することが實際上困難な旧制度の学校に在学した者等、大学卒業資格を有していない者を対象とする。

※最終学校の学則及び講義要項又はこれに相当するものを提出すること。

※高等学校卒業相当までの学歴のみを有する場合は、本出願資格の対象とはならない。

※本号((3)7号)に該当する場合は、出願前に以下のとおり個別の出願資格審査を申請すること。

■「(3)一般選抜」の7号に該当する場合の出願資格審査申請手順

(申請期限)

2026年5月22日(金)【必着】

※期間後の申請については、出願を受理しない場合がありますので、予めご了承ください。

(提出書類)

| | 提出書類 | 書式等 | 内容 |
|---|------------------|---------|--|
| ① | 出願資格審査申請書 | 指定用紙 | 本法科大学院指定の用紙に記入の上、提出してください。 |
| ② | 履歴書 | 指定用紙 | 本法科大学院指定の用紙に記入の上、提出してください。 |
| ③ | 大学・大学院各種証明書(コピー) | 各発行機関書式 | 履歴書に記載の当該学校(高等学校以前を除く)の各種証明書(在学、卒業(見込)、成績、退学等)のコピーを提出してください。あわせて当該学校の概要および授業科目・修業年限・授業時間数・卒業要件など教育内容を証明する書類(学校規則、講義要項等/コピー可)を提出してください。 |

※出願資格審査のために提出した書類は、返還できません。

※審査の過程において、書類の追加提出をお願いする場合があります。

※提出書類①「出願資格審査申請書(指定用紙)」、②「履歴書(指定用紙)」については、以下のURLより、書式をダウンロードの上、提出してください。

<https://www.waseda.jp/follow/gwls/admission/download/>

(提出方法)

A4判書類が折らずに入る市販の封筒(角2サイズ)を使用し、本法科大学院アドミッションズ・オフィス「出願資格審査」係宛に、「簡易書留・速達郵便」にて、受付期間内に郵送願います(送付先の住所は本要項最終ページに記載されている<問い合わせ先>の住所となります)。

(審査結果通知)

出願資格が認定された方には「出願資格認定証」を郵送いたします。出願の際には、同認定証を出願書類に同封してください。なお、入学検定料の振込は必ず、出願資格認定後～入学検定料支払締切日までに行ってください。

(出願資格に関する注意事項)

出願時に、本入試要項記載の出願資格を満たすために大学入学資格取得見込の証明書を提出された方につきましては、入学手続き時に、その資格取得を証明する書類を提出してください。入学試験に合格されても、入学までにその資格取得の証明書を提出できない(大学院入学資格を満たすことができない)場合は、入学を認められませんので注意してください。

本法科大学院在籍中に、他大学にも在籍することはできません。

本学(学校法人早稲田大学が設置する早稲田大学その他の学校をいう。)の教員は、本学の学籍を有することができませんので注意してください。ただし、規程上認められている場合もありますので、不明点がある場合は所属箇所事務所を通じて本部にお問い合わせください。

6. 障がい等のある方への受験・就学上の配慮

障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、本法科大学院アドミッションズ・オフィスまでメール(宛先:law-school-admission@list.waseda.jp)にてお問い合わせください。また、大きな病気やけがのため、受験に支障をきたす恐れがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合でも、速やかにお問い合わせください。本法科大学院では、連絡のあった方に対して必要書類等をご連絡いたしますので、その指示に従ってご対応ください。出願は本法科大学院から配慮事項に関する結果を受け取った後になりますので、**2026年5月22日(金)まで**に申請してください。出願後の申請については、受験上の配慮を行えない場合があります。

日常生活において、補聴器、車椅子等を使用している方で、試験当日も同様に使用する場合は、試験場設定等の関係から、必ず申請してください。

目薬や点鼻薬、座布団、ひざ掛け等の使用については、事前の申請は不要です。その他試験時間中に使用できる物品については、「9.受験」の「(4)受験上の注意(全試験共通)」の項を確認してください。

7. 入学検定料および併願パターン

| No | 特別選抜 | | 一般選抜 | | 入学検定料 |
|----|-------|-----|---------|---------|---------|
| | 5年一貫型 | 開放型 | 法学既修者試験 | 法学未修者試験 | |
| ① | 出願 | 出願 | | | 35,000円 |
| ② | 出願 | 出願 | 出願 | | |
| ③ | 出願 | | 出願 | | |
| ④ | 出願 | | | | |
| ⑤ | | 出願 | | | |
| ⑥ | | 出願 | 出願 | | |
| ⑦ | | | 出願 | | |
| ⑧ | | | | 出願 | |
| ⑨ | 出願 | 出願 | 出願 | 出願 | 60,000円 |
| ⑩ | 出願 | | 出願 | 出願 | |
| ⑪ | | 出願 | 出願 | 出願 | |
| ⑫ | | | 出願 | 出願 | |

8. 出願の手順

出願に際して、以下の3点を締切期限までに行うことが必要となります。以下の3点が全て完了していないと出願完了とはなりません。(以下の時刻は、全て日本時間となります。)

- (1) Web出願申請: 2026年6月1日(月) 10:00~11日(木) 23:59
- (2) 入学検定料の支払い: 2026年6月1日(月)~11日(木) 23:00
- (3) 出願書類(紙)の郵送: 2026年6月1日(月)~11日(木)【締切日消印有効】

<各手続完了の確認方法>

各手続が完了しているかの問い合わせについては、一切お答えしておりません。志願者本人が以下の方法で確認するようにしてください。また、各出願期間内に手続ができなかったことに関する問い合わせ等には一切お答えせず、各出願期間内に手続が完了していない場合には、出願は不受理となり、受験を認めません。

| 手続内容 | 確認方法 |
|----------------|--|
| (1) Web出願申請 | Web 出願システムの「出願一覧」画面上で出願状況を確認することができます。 |
| (2) 入学検定料の支払い | コンビニエンスストアでの支払いの場合には「入学検定料・選考料取扱明細書」の「収納証明書」、クレジットカードでの支払いの場合には、決済完了が表示されたWebサイトのプリントアウトが証明となりますので、大切に保管しておいてください。 |
| (3) 出願書類(紙)の郵送 | ご自身で書留引受番号により確認してください。また「簡易書留郵便受領証」は、出願書類を郵送した証明となりますので、大切に保管しておいてください。 |

<出願上の注意点>

出願手続に不備があった場合、出願を受け付けられないことがありますので十分注意してください。Web出願申請した内容や提出された出願書類に不明な点があった場合は、本法科大学院から連絡しますので、速やかにその指示に従ってください。「03-5286-1687」、「03-6457-3254」から着信があった場合には、必ず電話に出るようにしてください。原則、上記電話番号から連絡をしますが、本法科大学院アドミッションズ・オフィスの業務状況でその他の電話番号から連絡する場合があります。また、Web出願システムのチャット機能、その他の方法で連絡する場合があります。

出願後のWeb出願申請の内容、出願書類の差し替え、変更、追加、記載内容の確認等は一切認めません。出願はひとり1回に限ります。複数出願は認めません(「7. 入学検定料および併願パターン」に記載の出願パターンのように他の試験と併願することは可能です)。

出願書類を分割して別々に送付することは認めません。TOEIC、TOEFLなどの成績を、実施団体より直接本法科大学院に送付することもできません。

出願後に住所・電話番号等を変更した場合は、本要項2ページに記載の住所変更届出フォームより申請してください。フォームでの申請完了時、通知メールは送信されませんので、ご心配な方は本法科大学院アドミッションズ・オフィスまでお問合せください。あわせて郵便局で転居先への転送手続を行ってください。

志願状況・志願者数等の問合せは受け付けません。入学者選抜試験の各種データについては、本法科大学院Webサイトをご確認ください。

出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為認定の対象となります。不正行為と認められた場合、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。

志望動機やその他出願に関するWeb出願申請時に入力した内容や出願書類等は、本法科大学院に自分自身について説明する機会となりますので、ご自身で作成してください。生成 AI を使用してこれらの書類を作成し、自分で書いたものとして提出した場合、不正行為とみなされる可能性や、選考上の評価に影響を及ぼす可能性があります。

出願書類の作成にあたっては、黒インクのボールペンまたは万年筆（ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。）を使用し、文字は楷書、数字は算用数字とし、自筆で記入してください。また、出願書類作成の一部（本人署名欄を除く）に、PC 等を使用する場合は、黒で印字してください。

誤って記入した場合は、必ず誤記入部分を二本線で消し、上から訂正印（認印）を押した上で再度余白部分に記入してください。修正液は使用しないでください。

Web出願申請時に入力した内容や出願書類等で共通する事項は、同一の内容にしてください。なお、Web出願申請で入力された内容を基準とし、他の入力内容および出願書類の内容に相違があった場合は、虚偽の申請があったものと見なしますので、作成にあたっては十分注意してください。

改姓のため、証明書等に記載されている氏名が現在の氏名と異なる場合は、同一人物であることを証明する公的書類（戸籍抄本、戸籍個人事項証明書等）を1部、出願書類と一緒に提出してください。

能力証明資料等において、原本が1部しかない場合で、原本のコピー等を提出した場合には、合格者発表後から入学までの期間、または入学後に原本の提示を求めることがありますので、原本は大切に保管しておいてください。

(1) Web出願申請について

Web出願システム(TAO)については、以下の Web サイトからご利用ください。こちらに入力した内容が志願者の基本データとなりますので、以下を参照の上、間違いのないよう十分に注意してください。

<https://admissions-office.net/ja/portal>

※利用開始日は2026年6月1日(月)10:00からとなります。

<写真について>

Web出願システム(TAO)にアップロードする写真は、次の要件を満たすものを用意してください。

1. 出願時から3ヶ月以内に撮影したカラー写真(タテ4:ヨコ3の比率・上半身・正面・無帽・無背景・枠なし)をアップロードしてください。なお後述のとおり、入学手続き時には出願時と同じ写真のデータをアップロードすることとなりますので、カラー写真データは大切に保管しておいてください。
2. マフラーやサングラスなどを着用したままで撮影された写真は受け付けません。ただし、医療上、宗教上の理由で帽子等を着用した写真を提出したい場合は、出願に先立ち、お問合せください。
3. 顔写真は、試験当日の本人確認として使用しますので、スナップ写真等の不鮮明な写真や、髪型の違い等により個人の判別・本人確認が困難な写真は受け付けません。
4. 顔写真には加工・修正を施さないでください。
5. スマートフォン等で個人が撮影・印刷された写真は受け付けません。必ず証明写真(スピード写真可)で撮影してください。
6. 入学手続き時に学生証用の写真を別途アップロードすることとなりますが、その際は出願時と同じ写真を使用してください。なお入学手続き時にアップロードした写真は学生証のほか、学内諸手続きにおける本人確認および学内の各種Webサービス等に本人情報として登録しますので、あらかじめご了承ください。

提出書類の偽造・虚偽(写真の加工・修正等)が判明した場合、不正行為認定の対象となります。

<Web出願システム(TAO)入力項目について>

一部項目については、特定の選択肢を選択した場合にのみ追加の入力欄が見えるようになります。

①志願者情報

・出願試験(特別選抜)

・出願試験(一般選抜)

出願する選抜について入力してください。この欄に入力した内容が、希望する試験の根拠となります。誤って入力した場合、希望する試験の受験ができなくなりますので、間違いのないよう正確に入力ください。

・氏名

全角で入力してください。姓と名の間を全角1文字あけるようにしてください(例:早稲田 太郎)。

戸籍(住民票)と同じ漢字を入力してください。戸籍上の漢字を入力できない場合は、代替漢字(常用漢字)を入力してください。代替漢字も入力できない場合はカナで入力してください。

・カナ氏名

全角で入力してください。姓と名の間を全角1文字あけるようにしてください(例:ワセダ タロウ)。

・性別

本学では入学試験の円滑な実施と入学手続の必要上、合理的理由があると判断される必要最小限に留め、戸籍またはパスポート等の公的書類上の性別情報を収集しています。パスポート等の公的書類上の性別が男女いずれでもない方は、出願に先立ち、本法科大学院アドミッションズ・オフィスまでご連絡ください。性別情報が合否に影響を及ぼすことは一切ありません。詳細については、以下のURLをご参照ください。

<https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/sexual-minority/>

・生年月日

西暦で、半角数字8桁で入力してください(例:2004年8月1日生まれの場合、20040801と入力)。

・年齢

年齢は、入学時点(2027年4月1日)での満年齢を入力してください(例:2004年8月1日生まれの場合、22と入力)。

・国籍

「日本」か「日本以外」のどちらかを選択してください。

・郵便番号

日本国内の郵便番号を半角3桁-(ハイフン)4桁の形式で入力してください(例:169-0051)

・都道府県

都道府県名を選択してください。

・連絡先住所

連絡先住所は、都道府県名を省略し、市区郡から漢字で入力してください。また、丁目・番地等は省略し、ハイフン「-」で入力してください。下宿等の場合は「〇〇様方」まで入力してください。マンション名等は郵送上支障がない場合には省略し、番地に続けて室番号をハイフン「-」でつないで入力してください。連絡先住所は、日本国内に限ります。海外在住者は、日本国内の代理人の連絡先を入力してください。本法科大学院より志願者へ連絡する場合は、原則としてここに記載された連絡先に連絡します。海外の現住所については、「㊟緊急連絡先欄」に入力してください。

・自宅電話番号/携帯電話番号

自宅電話番号/携帯電話番号どちらかの入力が必要となります。重要な連絡をする場合がありますので、自宅電話番号と携帯電話番号がある場合には、両方入力してください。電話番号は、ハイフン「-」も含めて入力してください。自宅電話番号は、市外局番からハイフン「-」も含めて入力してください。海外在住者は日本国内の代理人の電話番号を入力してください。

「03-5286-1687」、「03-6457-3254」から着信があった場合には、必ず電話に出るようにしてください。原則、上記電話番号から連絡をしますが、本法科大学院アドミッションズ・オフィスの業務状況でその他の電話番号から連絡する場合があります。

・メールアドレス

入力必須となります。入学試験に合格した方はこちらに入力したメールアドレスに、合格後から入学までの重要な連絡をする場合があります。日常よく使用しているメールアドレスを入力するようにしてください。

・本学在籍者出身者

本学の正規の課程に在学、卒業、修了、退学したことがある場合には「在学学生、出身者(含退学)」を選択してください。「在学学生、出身者(含退学)」を選択した場合には、本学における最終の学籍番号を入力してください(例:1B239999)。

本大学・大学院の在学、卒業、修了または退学者は、入学金が免除となります。本項目を正しく記入していない場合、本学の学籍を有していても入学時に登録料の納入を求められることがありますので、十分に注意してください。

・本学法学部、大学院法学研究科、大学院法務研究科出身者

本学法学部、大学院法学研究科、大学院法務研究科の在学者、卒業修了者、退学者は「該当する」を選択してください。早稲田大学法学会入学金が免除となります。

・地方専願枠

特別選抜(5年一貫型)に出願し、地方専願枠を希望する場合「希望する」を選択してください。特別選抜(5年一貫型)に出願しない場合、または特別選抜(5年一貫型)に出願する場合でも本要項記載の条件を満たしている地方大学出身でない場合には、全て「希望しない(該当しない)」となります。

・社会人または法学部以外の学部出身者

社会人または法学部以外の出身履歴がある場合は本項目で必ず「該当する」を選択してください。(いずれか一方でも該当する場合には「該当する」を選択してください。)
「社会人」「法学部以外の学部出身者」の定義は以下の通りとなります。社会人の年数をカウントする際に、現職の場合には、2026年5月末時点の内容を記入してください。

■「社会人」の定義

出願時点において、官公庁・会社等における勤務経験、自営業、主婦・主夫等、通算して2年以上の社会経験を持つ者。

■「法学部以外の学部出身者」の定義

次のいずれかに該当する(見込みの)者

(1) 法学以外の分野の学位(学士、修士、博士、専門職)を取得したことがある者または2027年3月までに取得見込みの者。

(2) 「学士(法学)」の学位しか取得していない者または2027年3月までに取得見込みの者でも、学位取得時点で、修得単位のうち、専門科目における法律科目の単位数が過半数に達しない者。

②志望動機

志望動機については、以下Webサイトより、課題を確認の上、1500字以内で入力してください。入力の際に改行はしないようにしてください。

<https://www.waseda.jp/folaw/gwls/admission/download/>

※出願する入試によって、課題が異なりますのでご注意ください。

※特別選抜志願者は、一般選抜との併願の有無に関わらず、必ず「特別選抜課題」を選択してください。

※Web出願システム(TAO)上で、直接作成を行うとタイムアウトになる可能性がありますので、一度、別に作成したものをコピーするなど、すべて志願者本人の自己責任で対応してください。

③学歴

<学歴(学部)>

出願資格となる大学・学部の情報を入力してください。出願資格となる大学・学部を複数卒業されている方は、自らをアピールする上で最適であると志願者が判断した大学について入力してください。現在在学中の方は、すべて見込みで入力してください。

・大学名・学部名・学科専修名

大学名・学部名を入力してください。表記は所属大学で発行される証明書に合わせてください。証明書に学科専修コース名等まで記載されている場合には、証明書に合わせて学科専修コース名等まで入力してください(例1:早稲田大学法学部、例2:〇〇大学法学部法律専門コース)。

・卒業年

大学(学部)の卒業年を選択してください。

・卒業月

大学(学部)の卒業月を選択してください。

・卒業ステータス

出願時点での学部の卒業ステータスを選択してください。早期卒業の場合には「卒業見込」を選択してください。中途退学等の場合、卒業年、卒業月にそれぞれ該当の年月を選択し、卒業ステータスは「退学」を選択してください。飛び入学の場合には、本来卒業予定である卒業年月を卒業年、卒業月の項目に入力の上、卒業ステータスは「卒業見込」を選択してください。

・取得学位(学士)

取得(または取得見込の)学位(学士)を入力してください。卒業証明書(または卒業見込証明書)に記載の正式名称を入力してください(例1:学士(法学)、例2:法学士、例3:学士(〇〇学))。

・大学コード

「15. 大学コード(50音順)」を参照の上、所属大学のコードを半角4桁で入力してください。所属大学のコードがない場合には「9999」と入力してください。

・設置

大学の設置区分を選択してください。

・系統

出身学部の系統を選択してください。

・3年在学出願

早期卒業(出願資格第1号)、飛び入学(出願資格第6号)に該当する場合には、それぞれを選択、どちらにも該当しない場合には「該当しない」を選択してください。飛び入学を希望する現大学3年生は卒業年

で2028年、卒業月で3月を選択してください。(早期卒業の場合は、実際に卒業を予定している2027年3月で問題ありません。)

・留学経験の有無

大学在学中に留学経験がある場合には、「留学経験あり」を選択してください。ただし、本項目の「留学経験あり」とは、留学中に取得した単位が、所属大学で単位認定された場合を指します。本項目で「留学経験あり」を選択した場合には、紙で郵送する所属大学の成績証明書のうち、単位認定された科目にラインマーカーを引いて明確にしてください。

・留学先大学名・学部名

留学先の大学名・学部名を入力してください。表記は留学先大学で発行される証明書に合わせてください。

<学歴(大学院)>

修士課程や博士課程等の学歴を入力してください。最終学歴が学部の場合には、「学歴(大学院)」への入力は不要です。また、複数の大学院を修了している場合は、自らをアピールする上で最適であると志願者が判断した大学について入力してください。現在在学中の方は、すべて見込みで入力してください。

・大学名・研究科名・学科専修名

大学名・研究科名を入力してください。表記は所属大学で発行される証明書に合わせてください。証明書に学科専修コース名まで記載されている場合には、証明書に合わせて学科専修コース名等まで入力してください(例:早稲田大学大学院経済学研究科)。

・修了年

大学院の修了年を選択してください。

・修了月

大学院の修了月を選択してください。

・修了ステータス

出願時点での大学院の修了ステータスを選択してください。「修了」「修了見込」「退学」のいずれかを選択してください。現在、大学院に在学中で2027年3月での修了の見込みが立っていない場合には、本来修了予定である修了年月を修了年、修了月の項目に入力の上、修了ステータスは「修了見込」を選択してください。

・取得学位区分

取得(または取得見込の)学位の種類を選択してください。

・取得学位

取得(または取得見込の)学位を入力してください。修了証明書(または修了見込証明書)に記載の正式名称を入力してください(例1:修士(経済学)、例2:理学博士)。

・大学コード

「15. 大学コード(50音順)」を参照の上、所属大学のコードを半角4桁で入力してください。所属大学のコードがない場合には「9999」と入力してください。

・設置

大学の設置区分を選択してください。

・系統

出身学部の系統を選択してください。

④職歴

「勤務先」「勤務開始年月」「勤務終了年月」「担当部署、業務内容、担当業務等」には、主な職歴の情報を入力してください。現職を入力する場合は、2026年5月末時点の内容を記入してください。職歴がない場合には、「勤務先」の項目で「職歴なし」を選択してください。「通算職歴年」「通算職歴月」は、職歴が複数ある場合には、全ての職歴を通算した年月を入力してください。主婦・主夫である志願者も、その旨を「勤務先」の項目に入力し、あわせて主婦・主夫である期間を「通算職歴年」「通算職歴月」に入力してください。主な職歴以外にも職歴がある場合には、本項目に主な職歴（一番アピールしたい職歴）を入力し、その他の職歴は履歴書に記入し、紙で提出してください。

・勤務先

本項目は職歴がない場合でも必須項目となっています。職歴がない場合には、本項目に「職歴なし」と入力してください。

・勤務開始年月

主な職歴の勤務開始年月を選択してください。

・勤務終了年月

主な職歴の勤務終了年月を選択してください。現職の場合には2026年5月と入力してください。

・担当部署、業務内容、担当業務等

主な職歴の担当部署、業務内容、担当業務等を入力してください。40字以内で簡潔に入力してください。

・在籍状態

「在職中」または「退職」を選択してください。

・通算職歴年

これまでの全ての職歴を通算した年月を入力してください。在学中の仕事（アルバイト・パートタイム等）は職歴に含めないでください。現職の職歴がある場合には、現職の職歴は、2026年5月末までとしてカウントしてください。

・通算職歴月

これまでの全ての職歴を通算した年月を入力してください。在学中の仕事（アルバイト・パートタイム等）は職歴に含めないでください。現職の職歴がある場合には、現職の職歴は、2026年5月末までとしてカウントしてください。

・雇用区分

正社員、アルバイト等の選択肢から選択してください。適切な区分が選択肢にない場合には、「その他」を選択すると次項「具体的な区分」が表示されますので、そちらに具体的に入力してください。

・社会人

本法科大学院では、「社会人」を以下のとおり定義しています。以下の定義に当てはまる場合には、本項目で「該当する」を選択してください。なお、本項目で「該当する」を選択した場合には、必ず「①志願者情報の社会人または法学部以外の学部出身者」の項目でも「該当する」を選択してください。

■「社会人」の定義

出願時点において、官公庁・会社等における勤務経験、自営業、主婦・主夫等、通算して2年以上の社会経験を持つ者。

⑤奨学金

各奨学金の概要および出願資格については、「14. 奨学金制度等」の項を参照してください。なお、各奨学金への申請状況が合否に影響を与えることはありません。

- ・稲門法曹奨学金
- ・池田正範奨学金
- ・千賀修一法曹養成奨学金
- ・周藤保夫法曹養成奨学金
- ・法曹支援奨学金

希望するものについて「希望する」を選択してください。

・交換留学生優先枠(LL.M.コース)

「稲門法曹奨学金の交換留学生優先枠(LL.M.コース)」を希望する場合は、「交換留学生優先枠(LL.M.コース)」の項目で「希望する」を選択してください。なお、申請条件を満たしても本項目で「希望する」と選択していない場合は、稲門法曹奨学金の交換留学生優先枠で採用されません。

語学の能力を証明する資料として、出願締切日の過去2年以内に受験した TOEFL iBT の Test Taker Score Report または IELTS の Test Report Form のスコアを入力してください。なお、証明書(コピー可)は能力証明資料として郵送で提出してください。

⑥能力証明

能力証明として資格取得証明資料等を提出する場合は、本項目の選択肢から選択してください(5つまで)。本項目に該当する資格がない場合には、その他を選択した上で、資格名を入力してください。「その他」の種類が複数ある場合は、「その他」を1回のみ選択するだけで構いません。資格以外で自身の能力を証明する資料(著書、論文等)を提出する場合も「その他」を選択し、資料名を入力してください。その場合、正式な名称で入力をお願いします。また、入力する資格が複数ある場合には、「、」でつなげて入力してください(例:TOEIC Listening & Reading Test 950点、危険物取扱者免状甲種)。

こちらに入力した能力証明については、必ず根拠書類が必要となりますので、「(3) 出願書類(紙)について」の方法に沿って、紙で証明書類を郵送してください。自宅等から受験可能な外部試験(TOEFL iBT Home Edition、TOEFL iBT Paper Edition、IELTS Online 等)は、原則として、受付不可となります。また、TOEIC Listening & Reading Test を能力証明として提出する場合には、能力証明の項目で「その他」を選択し、「その他の資格」の項目に「TOEIC Listening & Reading Test 950点」のように入力の上、証明書に記載されている以下の項目も入力してください。以下の項目が未入力の場合には、TOEIC Listening & Reading Test の証明書は無効となります。TOEIC に関する項目は、「その他」を選択し、「その他の資格」欄の項目に文字を入れると追加入力欄が見られるようになります。

- ・姓(TOEIC) / ・名(TOEIC) / ・Registration number(TOEIC) / Date of birth(TOEIC)
- ・Administration number(TOEIC) / ・Test Date(TOEIC) / ・LISTENING SCOCE(TOEIC) /
- ・READING SCOCE(TOEIC) / ・TOTAL SCOCE(TOEIC)

⑦全科目の通算GPA(学部)

出身学部の全科目の通算GPA(GPA証明書に記載のGPA)を半角で入力してください(例:3.45)。所属大学が発行するGPA証明書(または成績証明書)にもとづいて、GPA値を入力してください。学士編入等をしている場合は、編入後の大学の通算GPAのみの記載で構いません。GPA証明書が発行されず、成績証明書にもGPAが記載されていない場合には本項目は空欄にしてください。(証明書には記載されず、ポータルサイト等、本人のみがGPAを閲覧できる場合にも空欄にしてください。)その場合には、GPA証明書の代わりにGPA証明書が発行されないことを客観的に示す根拠資料を郵送してください。

⑧リファレンス

昨年度に実施した2026年度入試より、推薦状の形式からリファレンスの形式に変更となっています。本法科大学院の出願に際して推薦者がいる場合には、「推薦者有」を、いない場合には「推薦者無」を選択してください。推薦者がいる場合、推薦者氏名、連絡先(メールアドレスまたは電話番号)を正確に入力してください。推薦者に連絡する場合がありますので、入力にあたっては、推薦者の内諾を得るようにしてください。姓と名の間は全角1文字をあけて入力してください(例:早稲田 太郎)。

推薦者は1名に限ります。必ずしも出身・在籍大学等の教員や、現在の職場の責任者等である必要はありません。志願者の法曹としての適格性や、志望動機の強固さ等について評価できる立場の方であれば、どなたでも結構です。また、推薦者と志願者との関係や、推薦者の社会的地位等によって、選抜上で有利・不利になることはありません。

⑨緊急連絡先

「①志願者情報」に入力された連絡先に連絡が取れない場合に連絡可能な連絡先(実家・勤務先等)を入力してください。出願時海外在住者は海外連絡先を本項目で入力してください。保護者等と同居の場合等で、「①志願者情報」の連絡先が緊急連絡先を兼ねる場合は、「志願者情報で入力した連絡先と同じ」を選択してください。

(2) 入学検定料の支払いについて

入学検定料はコンビニエンスストア、もしくはクレジットカードで支払ってください。入学検定料の納入がない場合や納入した検定料に誤りがあった場合、出願を認めません。

※必ず早稲田大学法科大学院を選択して支払ってください。他大学や早稲田大学の他の学部・研究科・課程等に支払いを行った場合には、出願が認められない可能性がありますので、ご注意ください。

①コンビニエンスストアからの支払い[セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート]

入学検定料は最寄りのコンビニエンスストアで支払ってください。コンビニエンスストアでの支払いに際しては、事前にパソコンもしくは携帯電話等によりインターネット上の「入学検定料コンビニ支払いサイト」

(<https://e-shiharai.net/>)にアクセスして所定の申込手続を完了させる必要があります。

支払い終了後、「入学検定料・選考料取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、以下のURLから「入学検定料支払証明書台紙」を印刷の上、所定欄に貼り付けて提出してください。詳細は本要項23ページにある「コンビニエンスストアでの検定料払込方法」を確認してください。

<https://www.waseda.jp/follow/gwls/admission/download/>

支払いは、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。(納入最終日の「Webサイトでの申込」は23:00まで、店頭端末機での操作は23:30までとなります。)

※家族・知人が代理で手続をする場合でも、必ず志願者本人の情報を入力するようにしてください。

②クレジットカードによる支払い

[VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、中国オンライン決済(銀聯カード)]

クレジットカード・中国オンライン決済での支払いに際しては、パソコンもしくは携帯電話等により「インターネット上の支払いサイト」(<https://e-shiharai.net/>)にアクセスをして所定申込手続を完了させる必要があります。

支払い終了後、決済完了が表示されたWebサイトをプリントアウトし、他の出願書類と一緒に郵送で提出してください。その際、必ず氏名、納入金額等が表示されているページをプリントアウトしてください。

※支払いは、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。(納入最終日は、日本時間の 23:00 までにカード決済を完了させてください。)

※支払いに使用するカードは志願者本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続をする場合でも、「基本情報」には必ず志願者本人の情報を記入するようにしてください。

<コンビニエンスストア・クレジットカード支払共通の注意事項>

ネットワーク障害等が発生した場合でも、手続期間の延長等はいりませんので、余裕をもって申し込んでください。本法科大学院に入学後、国費外国人留学生となる可能性のある方および、公的機関が認定する特定国からの留学生の方は、検定料が免除になる場合があります。該当する方は本法科大学院アドミッションズ・オフィスにご相談ください。

<出願書類および入学検定料の返還について>

一度提出した書類および納入した入学検定料は原則として、返還いたしません。ただし、以下のケースに該当する場合は、入学検定料に限り全額または超過分を返還いたします。該当する方は本法科大学院アドミッションズ・オフィスまでご連絡ください。

- 1) 入学検定料を所定額より多く支払った。
- 2) 入学検定料を支払ったが、出願書類を提出しなかった。
- 3) 入学検定料を支払ったが、出願締切後に書類を提出した。
- 4) 入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願書類を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった。

検定料の返還は11月頃を予定しております。入学検定料の返還については、以下の「検定料返還先口座届出書」を両面印刷し、必要事項を記入の上、9月25日(金)までに本法科大学院アドミッションズ・オフィス「入学検定料返還受付」係宛に簡易書留郵便でお送りください。(連絡先は本要項最終ページに記載されています。)コンビニエンスストア・クレジットカードどちらで入学検定料を納入した場合でも、返還先は、「検定料返還先口座届出書」に記入した銀行口座となります。

<https://www.waseda.jp/follow/gwls/admission/download/>

出願に際し、入学検定料の納入がない場合や納入した検定料に誤りがあった場合、出願を認めないことがあります。

早稲田大学 コンビニエンスストアでの検定料払込方法

検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」で24時間いつでも払い込みが可能です。

① まずはパソコン、スマートフォンで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net/>



端末の未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。

※入力内容を間違えた場合は、始めからもう一度やり直し、新たな番号を取得してお支払いください。
申込み完了後に通知する支払期限内に代金を支払わなければ、入力情報は自動的にキャンセルされます。

② コンビニでお支払い

- 検定料はATMでは振込できません。必ずレジでお支払いください。
- 「収納証明書」には収納印は押印されません。(コンビニ払込時には収納印は不要です)

7-Eleven
【払込票番号 (13ケタ)】

●レジにて「インターネット支払い」と店員に伝え、プリントアウトした【払込票】を渡すか、【払込票番号】をお伝えください。
マルチコピー機は使用しません

●レジにて代金をお支払いください。
●その際、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

LAWSON **MINI STOP**
【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

Looppi へ
各種サービスメニュー
各種代金・インターネット受付 (紫のボタン)
各種代金お支払い
マルチペイメントサービス
【お客様番号】【確認番号】を入力

●端末機より「申込み控え」(レシート)が出力されますので、30分以内にレジでお支払いください。
●その際、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。
※画面ボタンのデザイン等は、予告なく変更される場合があります。

FamilyMart
【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

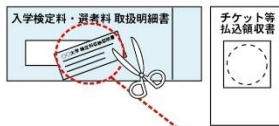
マルチコピー機 へ
代金支払い
番号入力画面に進む
【お客様番号】【確認番号】を入力

●端末機より「申込み控え」(レシート)が出力されますので、30分以内にレジでお支払いください。
●その際、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。
※画面ボタンのデザイン等は、予告なく変更される場合があります。

③ 出願

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学志願票の所定欄に貼る。

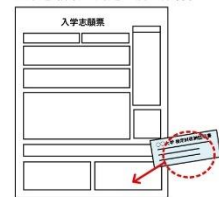
- セブン-イレブン ●ファミリーマート
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「チケット等払込領収書」は保管。



- ローソン ●ミニストップ
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「取扱明細書兼領収書」は保管。



切り取った「収納証明書」を入学志願票の所定の欄に貼付。



入学志願票に貼付する「収納証明書」部分

※「収納証明書」を貼付けする際には、欄本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている欄はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

■注意事項

- 出願期間を入手要項でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。
- 一度お支払いされた検定料は、コンビニでは返金できません。
- 取扱いコンビニ、支払い方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご連絡いたします。

●検定料の他に事務手数料が別途かかります。※事務手数料は変更になる場合があります。

事務手数料

| 入学検定料金額 | 事務手数料(消費税込) |
|---------------------|-------------|
| ～ 9,999 円 | 500 円 |
| 10,000 円 ～ 29,999 円 | 570 円 |
| 30,000 円 ～ 49,999 円 | 600 円 |
| 50,000 円 ～ 99,999 円 | 820 円 |
| 100,000 円 ～ | 890 円 |

「検定料納入」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお応えできません。詳しくはサイトでご確認ください。

<https://e-shiharai.net/>

早稲田大学 クレジットカード・銀聯カードでの検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!これが簡単・便利なシンプルスタイル!

クレジットカード・銀聯カードを利用して検定料のお支払いが可能です。



Web申込みオンライン決済

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net>

端末の未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。



1. トップページ

お支払い先を選択してください。

2. 学校選択

申し込みをする学校の学校名をクリックしてください。

3. 学校案内

注意事項等を確認のうえ、個人情報の取扱いについて同意してください。

4. カテゴリ選択

第1～第4選択を選択して「次へ」をクリック

5. 基本情報入力

申込者本人の基本情報を入力してください。
支払い方法を選択し、「次へ」をクリック

クレジットカードの場合

支払いに利用するカード番号(16桁)を入力してください。
※American Expressの場合は15桁
※お支払いされるカードの名義人は申込者本人でなくても構いません。

全入力内容が表示されますので、
よろしければ「上記の内容で確定する」をクリック

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する
携帯電話をご利用の場合は、プリンタのある環境で申込内容照会を行ってください。

銀聯カードの場合

画面の指示に従って、支払いを完了してください。

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する



印刷した「申込内容照会結果」と必要書類を、出願用封筒に入れる。



必要書類



郵便局から
郵送にて出願。



出願

【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願・申請書類に記載されている支払い期間内であれば、いつでもお支払い可能です。支払い期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は日本時間の23:00までにカード決済を完了させてください。
- 銀聯カードで決済する場合は、パソコンからお申し込みください。
- カードの名義人は、申込者本人でなくても構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。
- 申込内容照会は、e-shiharaiサイトの「申込照会」にて、お申し込み時に通知された【受付番号】【生年月日】を入力すると表示されます。
- カード審査が通らなかった場合は、カード会社へ直接お問い合わせください。

■手数料について

検定料の他に事務手数料が別途かかります。

| 入学検定料金額 | 事務手数料(消費税込) |
|-----------------------|-------------|
| ～ 29,999 円 | 565 円 |
| 30,000 円 ～ 49,999 円 | 1,005 円 |
| 50,000 円 ～ 69,999 円 | 1,446 円 |
| 70,000 円 ～ 99,999 円 | 1,833 円 |
| 100,000 円 ～ 199,999 円 | 2,074 円 |
| 200,000 円 ～ 299,999 円 | 2,618 円 |
| 300,000 円 ～ | 4,400 円 |

事務手数料は変更になる場合があります。

クレジットカード・銀聯カードでの検定料納入についてのお問い合わせは、サイトのよくある質問をご確認ください。

(3) 出願書類(紙)について

- ・以下の書類については、紙の書類を郵送する必要がありますので、出願期間内に必ず郵送するようにしてください。なお、一度提出した書類は原則として返還いたしません。
- ・出願書類の郵送は、[簡易書留郵便]／[速達]に限ります。出願書類受理証明書等は発行しませんので、ご自身で書留引受番号により確認してください。また「簡易書留郵便受領証」は、出願書類を郵送した証明となりますので、大切に保管しておいてください。
- ・郵便局業務取扱状況は、志願者の責任で予め確認してください。出願書類の不着等、郵便局業務について、本法科大学院は一切責任を負いません。本法科大学院アドミッションズ・オフィスへの出願書類の持ち込みは、一切受け付けません。

| | 出願書類一覧 | 特別選抜 | | 一般選抜 | |
|---|---------------------|-------|-----|---------|---------|
| | | 5年一貫型 | 開放型 | 法学未修者試験 | 法学既修者試験 |
| A | 卒業(見込)証明書 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| B | 成績証明書 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| C | GPA証明書 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| D | 履歴書 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| E | 入学検定料支払証明書 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| F | 法曹コース修了見込証明書 | ○ | ○ | × | × |
| G | 語学試験、資格試験等、各種能力証明資料 | △ | △ | △ | △ |

○:必須、△:任意、×:不要

※特別選抜に出願する場合には、法曹コース修了見込証明書が必ず必要になります。法曹コース修了見込証明書が所属大学・学部で発行できない場合、以下のURLから「法曹コース修了見込証明書」をダウンロードの上、作成してください。

<https://www.waseda.jp/follow/gwls/admission/download/>

※GPA証明書が発行されず、成績証明書にもGPAが記載されていない場合には、GPA証明書の代わりにGPA証明書が発行されないことを客観的に示す根拠資料も郵送してください。

<A「卒業(見込)証明書」、B「成績証明書」、C「GPA証明書について」>

- ・現在在籍している課程の各種証明書を提出する場合は、必ず出願時点で最新の証明書を提出してください。A、B、Cが一体となった証明書でも構いません。一体となった証明書とは「卒業・成績証明書」のように、証明書のタイトルに証明内容が明記されている場合に限りです。証明書のタイトルに証明内容が明記されていない場合には、それぞれの証明書を別々に提出してください。
- ・各種証明書は、厳封する必要はありません。
- ・各種証明書を提出する場合、紙媒体の証明書(原本)を提出してください。デジタル証明書の提出は認めません。
- ・日本語、英語以外の言語の場合は、原本と公的機関(大使館・領事館等)による日本語訳あるいは英語訳を提出してください。

- ・高等学校等卒業後に進学した高等教育機関(大学・大学院・短大・専門学校・日本語学校、留学経験がある場合には留学先機関など)のすべての証明書(卒業・修了証明書、成績証明書)を提出してください。中途退学した場合もすべて必要です。出身大学の証明書が教養課程と専門課程に分かれている場合も、必ず両方の証明書を提出してください。現在、在籍中で卒業(修了)証明書が発行できない場合には、卒業(修了)見込証明書または在籍証明書を必ず提出してください。
- ・GPA証明書が発行されない、あるいは成績証明書等へも記載がない大学については、GPA証明書が発行されないことを客観的に証明できるもの(大学のWebサイトの案内画面のコピー等)をGPA証明書の代わりに提出してください。なお、大学院について、GPA証明書は不要です。
- ・大学院修士課程1年次に在籍中等の理由で、Aが発行されない場合は、在学・在籍期間証明書等を提出してください。(退学した場合は、退学証明書を提出してください。)
- ・出願資格第2号により出願する場合は、学位授与証明書または学位授与申請受理証明書を提出してください。
- ・出願資格第6号により出願する場合(飛び入学)、Aの代わりに在学証明書を提出してください。あわせて2026年度末までに90単位以上を修得見込(履修中・履修予定・科目登録予定)であることが証明できる資料(単位修得見込証明書等)を提出してください。証明書等で年間を通じた形での履修状況を証明できない場合は、出願時点までの単位修得状況を証明する資料に加え、当該年度の履修可能単位数が明記された学部要項等のコピーをあわせて提出してください。
- ・出願資格第7号により出願する場合は、高等学校卒業後に進学した高等教育機関(大学・大学院・短大・専門学校など)のA、B、Cと「出願資格認定証」の原本を提出してください。なお、卒業・学位を取得(見込)していない場合はAの代わりに在学・在学期間証明書等を提出してください。

(中国の教育機関を卒業された方)

中国の教育機関を卒業された方は、A、B、CにおいてCHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する、英文の“Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate”をCSSD(CHESICC)から本法科大学院アドミッションズ・オフィス(law-school-admission@list.waseda.jp)へメールで直送されるよう手配してください。詳細についてはCSSD(CHESICC)のWebサイト(<https://www.chsi.com.cn/en/>)をご確認ください。必ず出願期間締切日までに本学へ“Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate”(英文版)が届くよう、余裕を持って準備してください。CSSD(CHESICC)から直接メールで届く“Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate(英文版)のみ有効とします。

<D「履歴書」について>

・履歴書(記入例)を参考にして記入してください。

- ・高等学校入学時点から現在に至るまでの全ての学歴(海外の教育機関・通信制教育・予備校等についても、該当するものがあれば全て)および職歴(無職の期間を含む)を、空白の期間が生じないように年代順に記入してください。
- ・留学している場合には、その学歴も履歴書に記入してください。ただし、18ページに記載の通り、Web出願システム(TAO)の入力項目「留学経験の有無」における「留学経験あり」とは、留学中に取得した単位が、所属大学で単位認定された場合を指します。留学中に取得した単位が、所属大学で単位認定されていない場合には、履歴書への留学先大学の記入と証明書(修了証明書、成績証明書)は必要となりますが、Web出願システム(TAO)の入力項目「留学経験の有無」については、「留学経験なし」を選択してください。

- ・履歴書に記入や説明のない期間がある場合、消極的な評価がなされることがあります。例えば、自宅学習の場合は「自宅学習」、主婦・主夫の場合は「主婦・主夫」、無職の場合には「無職」と記入してください。
- ・職歴を記入する際には、「取得学位・雇用区分等」の欄に正社員、アルバイト等の雇用区分を記入してください。
- ・大学・大学院については、学部・研究科名、学科・専修・専攻・分野・コース名等も記入してください。表記は所属大学で発行される証明書の表記に合わせてください。学科・専修・専攻・分野・コース名等がある場合には、証明書に合わせて学科・専修・専攻・分野・コース名等まで記入してください。
- ・取得学位等については、見込みのものも含み、専攻分野等詳細を入力してください。中途退学等も、その旨記入してください。
- ・学歴については卒業・修了の「見込み」で、職歴については出願時点での内容を記入してください。
- ・賞罰は該当するものがある場合に記入してください。また、それを証明する書類を必ず「能力証明資料」として綴じ込んで、一緒に郵送で提出してください。

(学校教育の半分以上の課程を外国において修了している場合)

学校教育の半分以上の課程を外国において修了している場合は、小学校、中学校を含む全ての学歴について紙で提出する履歴書に記入してください。

<E「入学検定料支払証明書」について>

- ・コンビニエンスストアからの支払いの場合には「入学検定料・選考料取扱明細書」の「収納証明書」部分を以下の URL からダウンロードした「入学検定料支払証明書台紙(指定用紙)」に貼付したものの、クレジットカード・銀聯カードでの支払いの場合には、支払い終了後、決済完了が表示されたWebサイト(氏名、納入金額等が表示されているページ)をプリントアウトし、提出してください。

<https://www.waseda.jp/folaw/gwls/admission/download/>

<F「法曹コース修了見込証明書」について>

- ・特別選抜に出願する場合には、必ず提出する必要があります。法曹コース修了見込証明書が所属大学・学部で発行できない場合、以下のURLから「法曹コース修了見込証明書」をダウンロードの上、作成してください。

<https://www.waseda.jp/folaw/gwls/admission/download/>

<G「語学試験、資格試験等、能力証明資料」について>

- ・将来、特色ある法曹として活動するのに適している能力を証明する資料があれば、Web出願申請の「能力証明」の項目に資料名を入力の上、志願者の判断により提出してください。Web出願申請の「能力証明」の項目に入力した資格・論文等は根拠資料として証明書が必要となります。どのような資料を提出するかも志望動機の記述内容との関連において審査の対象とします。
- ・以下のURLから「能力証明資料一覧(表紙)」をダウンロードの上、能力証明資料として提出する資料などはすべてこの表紙とともにホッチキス留めしてください。能力証明資料を提出しない場合は「能力証明資料一覧(表紙)」の提出も不要です。

<https://www.waseda.jp/folaw/gwls/admission/download/>

- ・提出された資料は返還できません。大事なものはコピーを提出してください。(その場合、後日原本の提示を求められることがあります。)

- ・提出資料は書類(A4判)に限ります。提出物は、簡潔に能力をアピールするよう心がけてください。A4を超える大きさの資料を含む場合は A4判に折り畳んで、A4判よりも小さい資料は A4判白紙に貼付け、コピー等をして、綴じ込んでください。
- ・語学能力に関する証明資料を提出する場合は、出願締切日の過去2年以内に受験したものを審査の対象とします。また母語による語学能力証明資料は審査の対象外になります。
- ・「交換留学生優先枠(LL.M.コース)」での選抜を希望する場合は、能力証明資料として、必ず出願締切日の過去2年以内に受験した TOEFL の Test Taker Score Report (2026 年1月 20 日以前に受験した方は iBT85 点以上、2026 年1月 21 日以降に受験した方はバンドスコア(Total)が 4.5 以上、または IELTS の Test Report Form (6.5以上)を提出してください(いずれもコピー可)。
- ・開封無効の厳封資料を提出する場合は、開封せずに、厳封封筒表面に資料番号を記入し、能力証明資料一覧(表紙)にクリップ留めのうえ、提出してください。
- ・著書・論文・その他作品等を資料とする場合は、出版・公表されたものに限り、出版社・公表箇所を示して、その概要(200字程度)を書面で提出してください。

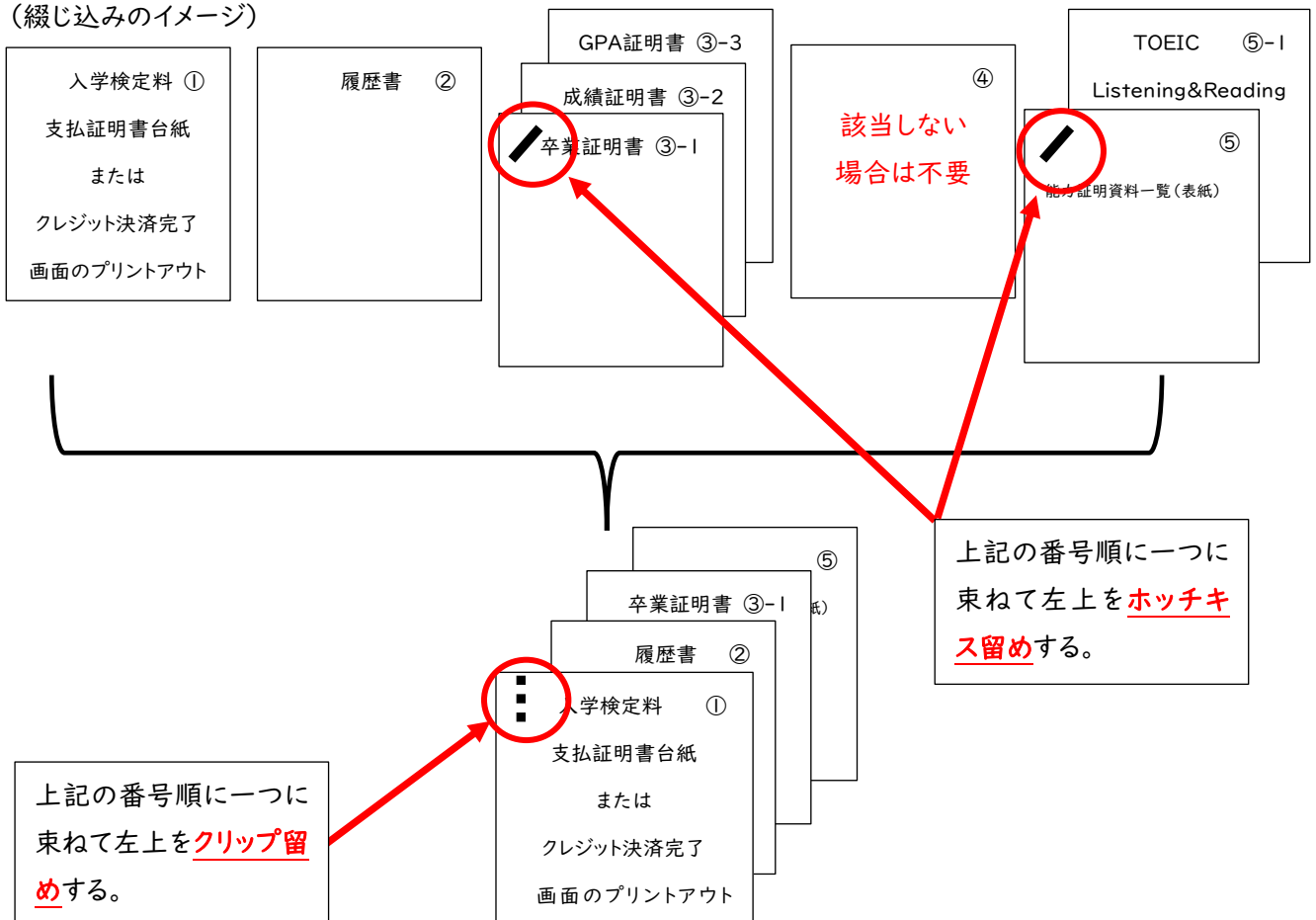
◆出願書類(紙)の郵送方法

・出願書類の綴じ込み方について

次の順に書類を揃え、右上に資料番号を記入してください。(複数枚ある場合には、③-1のように枝番号を記載してください。)その上で、以下の順番にクリップ留めして、封筒に同封してください。各種証明書が厳封(開封無効)されている場合は、開封せずに、封筒表面に資料番号を記入し、一番後ろにクリップ留めしてください。また、能力証明資料等で氏名の記載がないものについては、右上に氏名を記入してください。

| 右上に記入する番号 | 資料名 |
|-----------|---|
| ① | 入学検定料支払証明書台紙またはクレジット決済完了画面のプリントアウト【提出必須】 |
| ② | 履歴書【提出必須】 |
| ③ | 出願資格となる学部(見込)の卒業(見込)証明書【提出必須】 |
| | 出願資格となる法曹コース修了見込証明書【特別選抜受験者のみ提出必須】 |
| | 出願資格となる学部の成績証明書【提出必須】 |
| | 出願資格となる学部のGPA証明書【提出必須】 ※GPA 証明書が所属大学で発行されない場合には、代わりにGPA制度がないことを客観的に示す根拠資料が必須 |
| ④ | 大学院・短大・専門学校・語学学校・留学した大学等の卒業(見込)証明書【該当者のみ】 |
| | 大学院・短大・専門学校・語学学校・留学した大学等の成績証明書【該当者のみ】 |
| | その他在学証明書、在学期間証明書等【該当者のみ】 |
| ⑤ | 能力証明資料【任意】※提出する場合、能力証明資料の最初に「能力証明資料一覧(表紙)」をつけること |

(綴じ込みのイメージ)



・出願書類郵送用封筒ラベルについて ※ラベルは A4 (横) で印刷してください。

出願書類の郵送には、以下のWebサイトから出願書類郵送用封筒ラベルを必ず印刷の上、A4判書類が折らずに入る市販の封筒 (角2サイズ) に貼って郵送してください。出願書類郵送用封筒ラベルに出願する入試区分をチェックする欄があります。Web出願システム (TAO) で入力した入試区分と封筒のチェック欄でチェックした入試区分に齟齬がある場合には、出願が認められない、または志願者自身が受験しようと思っていた入試区分での受験ができない可能性がありますので、慎重に記入するようにしてください。

<https://www.waseda.jp/folaw/gwls/admission/download/>

(出願書類郵送用封筒ラベルの貼り方)

A4判書類が折らずに入る市販の封筒 (角2サイズ) に出願封筒用ラベルを印刷の上、横向きに貼付。

The image shows a screenshot of a Japanese application label form. At the top, there are fields for a zip code (169-8050) and buttons for '折曲解除' (Unfold) and '商品番号' (Product Number). The address is listed as '東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学法科大学院 アドミッションズ・オフィス 行'. Below this is a section for '志願者' (Applicant) with fields for '住所' (Address), '氏名' (Name), and 'Tel.'. A red arrow points to the '入試区分' (Examination Category) field. Below the form, there is a section for '【出願期間: 2026年6月1日(月) ~ 6月11日(木) 締切日消印有効】' (Application Period) with a list of checkboxes for various exam categories.

9. 受験

(1) 受験票

Web出願システム(TAO)上で確認が可能です。特別選抜(5年一貫型)を受験する方は、6月26日(金)以降、それ以外の方は、8月3日(月)以降に、受験票の閲覧が可能となりますので、内容を確認し、プリントアウトの上、面接試験(特別選抜5年一貫型のみ)および論述試験当日に必ず持参するようにしてください。特別選抜(5年一貫型)の面接試験の日程や集合時間等の情報はWeb出願システム(TAO)に入力したメールアドレス宛に6月26日(金)までに連絡します。

(2) 選考

<全入試制度共通>

書類審査で重視する点は大きく次の5点です。

- ①判断力・思考力・分析力等の資質[知的側面]
- ②社会常識・奉仕の精神・正義感[情の側面]
- ③強い使命感・情熱・気力[意志の側面]
- ④教養・各種分野の専門的能力[知識の側面]
- ⑤表現力・コミュニケーション能力

※本法科大学院のアドミッションズ・ポリシーや上記5点の資質・能力と照らし合わせて、本法科大学院の求める人材にふさわしくないと判断した場合には、不合格となることがあります。

<特別選抜(5年一貫型)>

特別選抜(5年一貫型)では、①出願書類による書類審査、②志願者全員に課される面接試験の成績を総合的に評価し、合格者を決定します。

| | |
|-------|--|
| ①書類審査 | 志望動機・学歴・職歴等Web出願システム(TAO)に入力した内容、大学・大学院成績、能力証明資料等を基に総合的に審査します。特に法曹コースでの成績を重視します。 |
| ②面接試験 | 提出書類に基づいて、個別面接を実施します。 |

<特別選抜(開放型)>

特別選抜(開放型)では、①出願書類による書類審査、②志願者全員に課される法律科目論述試験の成績を総合的に評価し、合格者を決定します。

| | |
|---------------------|--|
| ①書類審査 | 志望動機・学歴・職歴等Web出願システム(TAO)に入力した内容、大学・大学院成績、能力証明資料等を基に総合的に審査します。特に法曹コースでの成績を重視します。 |
| ②法律科目論述試験 (300点) | 民法、刑法、憲法の3科目について、本学独自の法律科目論述試験を実施します。配点は民法120点、刑法100点、憲法80点とし、計300点として審査します。 |

<一般選抜(法学既修者試験)>

一般選抜(法学既修者試験)では、①出願書類による書類審査、②志願者全員に課される法律科目論述試験の成績を総合的に評価し、合格者を決定します。この試験では、法律学の能力を確認することに主眼が置かれるため、②の法律科目論述試験の成績が最も重要視されます。また、①の提出書類において法律学の能力を証明する資料を提出した場合も特に評価されます。

●法学既修者試験において特に評価される能力証明資料の例

法学検定試験／過去の法学検定試験委員会法学既修者試験成績／司法試験予備試験成績／司法書士など、法的知識が必要とされる資格／その他、法的知識が必要とされる資格・検定試験

※あくまで一例であり、実際は志願者の判断で自由に提出してください。また、これらの資料が試験において無条件に有利にはたらくとは限りません。

| | |
|---------------------|---|
| ①書類審査 | 志望動機・学歴・職歴等Web出願システム(TAO)に入力した内容、大学・大学院成績、能力証明資料等を基に総合的に審査します。 |
| ②法律科目論述試験 (540点) | 民法、刑法、憲法、民事訴訟法、刑事訴訟法、商法の6科目について、本学独自の法律科目論述試験を実施します。配点は民法120点、刑法100点、憲法80点、民事訴訟法80点、刑事訴訟法80点、商法80点とし、計540点として審査します。 |

※②の論述試験について、1科目でも成績が極端に悪い科目(未受験を含む)があった場合は、他の科目の成績にかかわらず不合格となることがあります。

※特別選抜(開放型)と一般選抜(法学既修者試験)の民法、刑法、憲法は同じ問題です。

※審査結果に関する問い合わせは一切受け付けません。

<一般選抜(法学未修者試験)>

一般選抜(法学未修者試験)では、①出願書類による書類審査、②志願者全員に課される小論文試験の成績を総合的に評価し、合格者を決定します。

| | |
|------------------|--|
| ①書類審査 | 志望動機・学歴・職歴等Web出願システム(TAO)に入力した内容、大学・大学院成績、能力証明資料等を基に総合的に審査します。 |
| ②小論文試験 (100点) | 志願者全員に対して本学独自の小論文試験を実施します。 |

(3) 試験時間割

<特別選抜(5年一貫型)>

試験日:2026年7月4日(土)

試験場:早稲田大学早稲田キャンパス内(「16.キャンパスマップ」を参照ください)

実施方法:1名あたり概ね20分間の対面による面接

実施時間:詳細はWeb出願システム(TAO)で入力したメールアドレスへ6月26日(金)までに連絡予定です。

<特別選抜(開放型)>

試験日:2026年8月29日(土)

試験場:早稲田大学早稲田キャンパス 15号館(「16.キャンパスマップ」を参照ください)

集合時刻:9:20(試験室入室9:00~)

| 試験科目 | 試験時間 |
|---------------------|-----------------------|
| 民法・刑法・憲法(同時限に3科目実施) | 1時限 10:00~13:00(180分) |

<一般選抜(法学既修者試験)>

試験日:2026年8月29日(土)

試験場:早稲田大学早稲田キャンパス 15号館(「16.キャンパスマップ」を参照ください)

集合時刻:9:20(試験室入室9:00~)

| 試験科目 | 試験時間 |
|---------------------------|-----------------------|
| 民法・刑法・憲法(同時限に3科目実施) | 1時限 10:00~13:00(180分) |
| 民事訴訟法・刑事訴訟法・商法(同時限に3科目実施) | 2時限 15:00~17:30(150分) |

<一般選抜(法学未修者試験)>

試験日:2026年8月30日(日)

試験場:早稲田大学早稲田キャンパス 15号館(「16.キャンパスマップ」を参照ください)

集合時刻:9:20(試験室入室9:00~)

| 試験科目 | 試験時間 |
|------|----------------------|
| 小論文 | 1時限 10:00~11:30(90分) |

<筆記試験における注意事項>

- ・試験当日に、早稲田大学早稲田キャンパス15号館1階正面入口に試験室一覧を掲出します。
- ・法学既修者試験受験者には、試験当日に大学が用意した六法を配布し、使用を許可します。
- ・指定された試験場以外では受験できません。
- ・試験開始20分を経過してからの試験室への入室は認めません。
- ・併願受験の場合、両日同一の試験室での受験となります。
- ・特別選抜(開放型)および一般選抜(法学既修者試験)論述試験の各試験科目は、以下の解答時間を想定して出題します。

(1時限)民法:70分、刑法:60分、憲法:50分

(2時限)民事訴訟法、刑事訴訟法、商法:各50分

なお、同一時限内に実施する試験科目については、各科目の解答用紙をまとめて配付し、時限終了後にまとめて回収するため、解答の順番や時間配分は受験者に委ねられます。

(4) 受験上の注意(全試験共通)

○交通機関

- 試験当日は交通機関が混雑しますので、試験場には早めに到着するよう心掛けてください。
各試験場周辺の道路は、混雑のため交通規制されることがありますので、タクシーの利用や、自家用車での送迎は避けてください。
- 気象状況や事故などでJR山手線をはじめとする首都圏の主要な交通機関が運転を見合わせるような場合には、試験開始時刻を遅らせることがあります。
- 試験終了後は、答案の回収・確認作業が終了するまで退出できません。教室によっては、試験終了から試験場退場まで30分以上を要する可能性もあります。また、試験場から最寄駅までの道のりは大変混雑しますので、当日中に遠方へ帰る方で、事前に交通機関の手配をする場合は、時間に十分な余裕を持ってください。試験時刻は当日の交通状況などの事由により、一部変更となる場合があります。

○帽子・服装

- d. 試験時間中の着帽は認めません(フードの着用も認めません)。
- b. 文字や地図等がプリントされている上着等の着用やひざ掛け・座布団等の使用は認めません。着用している場合には、脱いでいただくことがあります。
- c. 試験教室内の室温の調整には留意しますが、座席の配置によっては「寒い」、「暑い」など感じる場合もありますので、試験当日は温度調節の可能な服装をお勧めします。人によっては、外部との気温差でかなり寒く感じる可能性がありますので、上着を持参することをおすすめします。

○六法

試験用に配付する六法への書き込み、頁折、ラインマーカー等は認めません。

○受験票

受験の際には、必ず「受験票」を持参してください。

○試験時間中に使用できる物品

試験時間中に使用できる物品は以下の通りです。ただし試験時間中に使用できる物品を使用している場合でも、不正行為防止のため、必要に応じて試験監督員が確認することがあります。また、文房具・時計等の貸し出しを行っておりませんので、必要な物品は忘れずに持参してください。

| 物品 | 注意事項 |
|----------------------------------|---|
| 黒インクのボールペンまたは万年筆 | インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限ります。 |
| ラインマーカー、シャープペンシル、鉛筆、色鉛筆、修正液、消しゴム | 下書き用紙には使用可能ですが、解答用紙および六法に使用した場合には、不正行為となります。 |
| 時計 | 試験教室に時計は設置していませんので、必ず各自で持参してください。ただし、以下に留意してください。 ・秒針音のするものは周囲の受験者の迷惑となる可能性があるため、使用を認めません。 ・辞書・電卓等、時計・計時以外の機能のあるものは、使用を認めません。 ・携帯電話等を時計として使用することは認めません。 ・試験時間中に時計のアラーム音等が鳴った場合、不正行為となることがあります。 ・その他、他の受験者の迷惑になる可能性や不正行為につながると試験監督員が判断した場合、試験場において試験監督員が確認し、使用を認めない場合があります。 |
| 飲物 | 水筒およびラベルをはがしたフタ付きペットボトルに限ります。 |
| マスク | 写真照合の際にいったん外してもらうことがあります。 |
| ティッシュペーパー | 袋または箱から中身を取り出して使用してください。 |
| ハンカチ、座布団、ひざ掛け | 文字や地図等がプリントされているものは使用を認めません。 |
| 目薬・点鼻薬 | 試験時間中は机の上に置かず各自の荷物の中にしまっておき、使用する場合には、試験監督員に申し出てください。 |
| 鉛筆削り | 他の受験者に迷惑にならない範囲で使用を認めます。 |

○試験時間中に使用を認めない物品

「試験時間中に使用できる物品」以外の使用は原則として認めません。机上に置いている場合や使用した場合は、不正行為と見なされる場合があります。以下に一例を示します。

| 物品 | 注意事項 |
|---|---|
| 通信機能のある電子機器（携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ、スマートグラス、ワイヤレスイヤホン等） | 電源を必ず切ってかばんの中にしまってください。試験中にかばんの中にしまっていなかった場合には、受験者の故意・過失に関わらず、その電源が切られている状態であっても、原則として不正行為とみなします。 ※時計・ストップウォッチとしての使用も認めません。 ※Bluetooth、Wi-Fi、データ通信など、日付・時刻以外の情報を送信、受信、または送受信が可能な機能が搭載された機器は全て認めません。（例：「スポーツウォッチ」や「ランニングウォッチ」として利用し、日付・時刻の情報しか参照していなかったとしても、当該機能が搭載されていれば使用を認めません）。ご自身で該当するかどうか判断がつかない場合はかばんの中にしまってください。 |
| 通信機能のない電子機器（電卓、電子辞書、音楽プレーヤー、ICレコーダー、イヤホン等） | 電源を必ず切ってかばんの中にしまってください。 ※時計・ストップウォッチ機能が搭載されていても使用は認めません。 |
| 耳栓 | 監督員の指示が聞こえない可能性があるので使用を認めません。 |
| 食物 | 飴、ガム等を含みます。 |
| 使用を認めている文房具以外 | |

(5) 早稲田大学入学試験受験に際しての注意事項

早稲田大学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、適切な受験環境の保持に努めています。本学入学試験の受験に際しては、以下に定める注意事項を熟読のうえ、真摯な態度で試験に臨んでください。

- a. 本学に提出した書類・資料、提供した情報等（以下、「本提出書類等」といいます。）に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為認定の対象となります。
- b. 次のことをすると不正行為認定の対象となります。
 - ①カンニングをすること（試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つ・使用する、他の受験者の答案等を見る、答えを教わる、身体・物品・机等にメモをする、メモを見るなど）。
 - ②試験時間中に使用できる物品以外の物品を使用すること（机上に置くこと、身に付けることを含む）。
 - ③監督員による、「試験開始です。」の指示の前に、問題冊子・解答用紙に触れること（冊子を開く、解答を始める、裏面・余白等）に書き込みを行うなど）。
 - ④監督員による、「試験終了です。筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにしてください。」の指示に従わず、筆記用具を持っていたり解答を続けたりすること。
 - ⑤試験時間中に、答えを教える等他の受験者を利するような行為をすること。
 - ⑥試験時間中に電子機器等の音（着信・アラーム・振動音等）を鳴らすこと。

- ⑦試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑧試験場において監督員等の指示に従わないこと。
- ⑨受験者以外の者が受験者本人になりすまして試験を受けること。
- ⑩解答用紙を持ち帰ること。
- ⑪その他、試験の公平性・公正性を損なう行為をすること。

c. 不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。これらに応じない場合、不正行為を自認したものとみなします。

- ・ 監督員等が注意をする、または事情を聴くこと。
- ・ 別室または別席での受験を求めること。
- ・ 本提出書類等につき、その真正性等を確認するために、本学が発行元・提供元または論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすること。出願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとする。

d. 不正行為と認められた場合、次のような対応をとります。

- ・ 当該年度における本学の全ての入学試験の受験を認めないこと（入学検定料は返還しない）。
- ・ 当該年度における本学の全ての入学試験の結果を無効とすること。

なお、入学後に不正行為と認められた場合は、本学規程に基づき入学取消とします。

大学が極めて悪質かつ重大であると判断した不正行為については、警察への通報や不正行為者の在籍（出身）学校・保護者等への報告を行う場合があります。

また本学では、入学試験の実施に際し、以下のような対応をとることがあります。あらかじめご了承ください。

◆受験環境について

可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。

- ①生活騒音（自動車・航空機・風雨・換気・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話等の鳴動など）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。また、試験中に監督員が小声で最小限の打ち合わせを行う場合がありますが、この場合も原則として特別な措置は行いません。
- ②試験中に携帯電話や時計等の音・振動などが発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく監督員が試験教室外に持ち出し、試験本部で保管すること、あるいはかばんの中から携帯電話・時計等を取り出し鳴動停止の操作をすることがあります。
- ③隣席の受験者の手洗いや、体調不良による入退室のため、監督員の指示により席を立っていただくことがあります。その場合でも、原則として試験時間の延長等特別な措置は行いません。
- ④机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による相違は一切考慮しません。
- ⑤他の受験者が迷惑と感じる行為がある場合、別室または別席での受験を求めることがあります。
- ⑥受験者の周辺より異音等が確認された場合、詳細を確認するため、監督員等が座席付近を重点的に巡回したり点検したりすることがあります。

◆不可抗力による事故等

台風、洪水、地震、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等や交通機関の乱れが発生した場合、試験開始時刻および終了時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については一切責任を負いません。

◆病気

試験当日は救護所に医師が待機しており、診察を受けることが可能ですので、必要に応じてご利用ください。試験中に体調が悪くなった場合には、その旨を監督員に速やかに申し出てください。また、体調不良が疑われる受験者に対して、監督員が救護所での診察を促す場合もあります。ただし、移動や診察等にかかる試験時間の確保・延長はありませんので、注意してください。

◆遺失物

物品を紛失した場合は、各試験場の監督員または係員に申し出てください。

なお、翌日以降の問い合わせは本法科大学院アドミッションズ・オフィスをお願いします。

今後感染症等で実施方法に変更が生じる場合や災害等で試験日程を変更する等試験に関する重要なお知らせがある場合は、本法科大学院Webサイトにてお知らせしますので、定期的を確認するようにしてください。

10. 合格者発表

(1) 発表日時

<特別選抜(5年一貫型)>

2026年7月10日(金)15:00

<特別選抜(開放型)>

2026年9月18日(金)15:00

<一般選抜(法学未修者試験・法学既修者試験)>

2026年9月18日(金)15:00

(2) 発表方法

本法科大学院Webサイト(<https://www.waseda.jp/folaw/gwls/>)にて合格者を発表します。

合格者発表と同時に、予備合格者を発表することがあります。予備合格者には個別に郵送でその旨を通知します。定員に欠員が生じた場合は、予備合格者の中から繰上合格者を順次発表します。繰上合格の通知は、直接該当者がWeb出願システム(TAO)で入力した連絡先に郵便で行います(入学手続等の詳細は該当者に別途お知らせします)。

繰上合格とならない予備合格者に対しては、2027年度の入学予定者が確定した段階(3月の予定)でそれ以降の繰上合格を行わない旨を郵送にて全員に通知します。

可否および予備合格者・繰上合格者発表状況等の問合せは一切受け付けません。

(3) 合格証明書および入学手続書類の交付

合格者には、合格証明書および入学手続に係る書類を合格者発表後に郵送します。なお、不合格者には書類は何も送付されません。

送付先はWeb出願システム(TAO)で入力された連絡先の住所です。出願後に住所・電話番号等が変わった場合は、本要項2ページの住所変更届出フォームにて特別選抜(5年一貫型)受験者は7月4日(土)までに、それ以外の方(特別選抜(5年一貫型)に不合格となり、それ以外の入試を受験する方を含む)は8月30日(日)までに住所変更手続をしてください。

合格したにもかかわらず合格者発表日から7日を経過しても書類が到着しない場合は、本法科大学院アドミッションズ・オフィスまで問い合わせてください。

交付は郵送またはWeb上で行い、窓口での直接交付は行いません。

入学手続書類の不着あるいは遅配の場合でも、入学手続期間(次項参照)経過後の手続は一切認めません。

11. 入学手続

所定の期間内に①入学手続料(登録料、学費・諸会費)の納入、②入学手続情報の入力(UCARO)、③入学手続書類の提出(郵送)の3点を完了することにより、入学手続が完了します。

※「登録料」は、入学者に限り「入学金」に振り替えます。

入学手続方法および手続に必要な書類の詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご確認ください。期間経過後の入学手続は一切認めませんので、十分注意してください。入学手続を期間内に完了しなかった場合には、入学を認めません。

一度提出した書類および納入した登録料、学費・諸会費(春学期分)は原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合や入学までに入学資格を満たせなかった場合には、学費・諸会費(春学期分)のみ返還の対象となります。手続方法等、詳細は合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

※第二次入学手続期間は予定です。詳細は合格者に別途お知らせします。

(1) 第一次手続期間 《 ①登録料、学費・諸会費(春学期分)納入期間 》

<特別選抜(5年一貫型)>

2026年7月13日(月)~24日(金)

<特別選抜(開放型)><一般選抜(法学未修者試験・法学既修者試験)>

2026年9月24日(木)~10月2日(金)

(2) 第二次手続期間 《 ②入学手続情報の入力(UCARO)、③入学手続書類提出(郵送) 》

<全入試共通>

2027年2月上旬[予定]

「入学手続の手引き」に従い、入学手続書類を提出することにより完了します。

詳細は合格者に送付する「入学手続の手引き」をご確認ください。

※予備合格者が繰上合格となった場合の各種入学手続期間は、上記と異なることがあります。該当者には個別に連絡いたします。

<入国前結核スクリーニング>

フィリピン/ベトナム/インドネシア/ネパール/中国の国籍を有する志願者は、在留資格認定証明書(COE)の申請時に、通常の申請書類に加えて、結核を発病していないことを証明する「結核非発病証明書」の提出を求められます。国によって適用開始時期が異なりますので、対象国の国籍を有する方は、以下の資料で詳細を必ずご確認ください。

<https://www.waseda.jp/inst/cie/news/40765>

12. 学費・諸会費

【2027年度 入学者の学費(予定)】

(単位:円)

| 年度 | 納入期 | (注1) 登録料 | 学費・諸会費 | | | | | 合計 | 入学課程 | |
|------|-----|-------------|-----------|----------|----------------|-------------|-------|-----------|--------------------|--------------------|
| | | | 授業料 | 実演 習料 | 学生健康増進 互助会費 | 諸会費 | | | 3 年 標準 課程 | 2 年 短縮 課程 |
| | | | | | | 学会費 | | | | |
| | | | | | | (注2) 入会金 | 年会費 | | | |
| 第1年度 | 入学時 | 300,000 | 571,500 | 60,000 | 1,500 | 5,000 | 1,000 | 939,000 | ↑ | ↑ |
| | 秋学期 | — | 571,500 | 60,000 | 1,500 | — | 1,000 | 634,000 | | |
| | 計 | 300,000 | 1,143,000 | 120,000 | 3,000 | 5,000 | 2,000 | 1,573,000 | | |
| 第2年度 | 春学期 | — | 721,500 | 60,000 | 1,500 | — | 1,000 | 784,000 | | |
| | 秋学期 | — | 721,500 | 60,000 | 1,500 | — | 1,000 | 784,000 | | |
| | 計 | — | 1,443,000 | 120,000 | 3,000 | — | 2,000 | 1,568,000 | | ↓ |
| 第3年度 | 春学期 | — | 721,500 | 60,000 | 1,500 | — | 1,000 | 784,000 | | |
| | 秋学期 | — | 721,500 | 60,000 | 1,500 | — | 1,000 | 784,000 | | |
| | 計 | — | 1,443,000 | 120,000 | 3,000 | — | 2,000 | 1,568,000 | ↓ | |

注1:本大学、本大学大学院または専攻科の在学、卒業、修了または退学者が入学する場合、登録料が免除されます。詳細については、合格者に送付される「入学手順の手引き」をご参照ください。

注2:学会費入会金については、本大学法学部、大学院法学研究科、大学院法務研究科に在籍し、既に法学会に入会している場合は免除されます。

※登録料、学会費入会金については、入学時のみの納入となります。

※「登録料」は入学者に限り「入学金」に振り替えます。

※選択科目の臨床法学教育、エクスターンシップについては、科目履修時に別途宿泊費・交通費等の実費が発生することがあります。

※修了する年度の最終学期に、校友会費(40,000円)が加算されます。

13. 不合格者への入試成績の開示について

不合格者のうち、希望者（受験者本人に限る）に対し、当年度の入試成績を開示します。

(1) 申請方法

2027年3月上旬に、本法科大学院Webサイトに入試成績開示申請書を掲載します。申請書を印刷・記入し、封筒に①入試成績開示申請書、②法学研究科法曹養成専攻受験票（Web出願システム（TAO）からプリントアウト）、③郵送返信用の切手を同封したうえで、「簡易書留郵便」にて本法科大学院アドミッションズ・オフィス宛に郵送してください。1か月以内を目途に簡易書留による郵送にて開示いたします。（日本国内の住所に限ります。）

受付期間：2027年4月5日（月）～9日（金）【締切日消印有効】

ただし、申込期間を過ぎますと受け付けできませんのでご注意ください。

(2) 開示内容

法学未修者試験：小論文試験 得点

法学既修者試験：法律科目論述試験 科目別得点

特別選抜（開放型）：法律科目論述試験 科目別得点

(3) 注意事項

提出された書類は返却いたしません。

14. 奨学金制度等

(1) 奨学金制度の概要

今後変更になる場合がありますので、2027年度の奨学金制度の詳細については、入学手続き時に配付する「奨学金情報 Challenge」を参照してください。

早稲田大学学生部奨学課Webサイト:<https://www.waseda.jp/inst/scholarship/>

| 奨学金名 | 目的とあらまし | 奨学金額 | 出願資格(選考基準) |
|---------------------|--|--|--|
| 稲門法曹奨学金 【給付】 | 早稲田大学出身の法曹(稲門法曹)の寄付からなる奨学金で、将来本学が誇れる法曹として、社会で活躍できる優秀な人材の育成を目的とします。 | (年額) ・年間授業料相当額(全免) ・秋学期授業料相当額(半免) のいずれか | ・入学者選抜試験出願時申請者(入学者選抜試験における評価・人物) |
| 池田正範奨学金 【給付】 | 故池田正範氏からの遺贈による寄付金です。本学法学部を卒業し、法学既修者として入学する学生の支援を目的としています。 | (年額) 700,000円 | ・入学者選抜試験出願時申請者(学部における学業成績・人物) ・本学法学部の卒業生 |
| 千賀修一法曹養成奨学金 【給付】 | 本学校友である千賀修一氏からのご厚志による寄付金です。本学学部(すべての学部)を卒業し、本法科大学院に入学する学生の支援を目的としています。 | (年額) 700,000円 | ・入学者選抜試験出願時申請者(入学者選抜試験における評価・人物) ・本学学部の卒業生 |
| 法曹支援奨学金 【給付】 | 本学校友(匿名)からのご厚志による寄付金です。法曹を志す学生の支援を目的としています。 | (年額) 700,000円 | ・入学者選抜試験出願時申請者(入学者選抜試験における評価・人物) |
| 周藤保夫法曹養成奨学金 【給付】 | 本学校友である周藤保夫氏のご厚志による奨学金です。本学法学部を卒業し、本法科大学院に入学する成績優秀者の修学支援を目的としています。 | (年額) 700,000円 | ・入学者選抜試験出願時申請者(入学者選抜試験における評価・人物) ・本学法学部の卒業生 |
| 大隈記念奨学金 【給付】 | 早稲田大学創立者大隈重信を記念し、建学の精神を顕揚して、人材の育成に資することを目的とします。 | (年額) 400,000円 ※金額が変更になる場合があります。 | ・標準修業年限内在籍者(学業成績・家計状況・人物) |
| 小野梓記念奨学金 【給付】 | 早稲田大学創立当初の功労者である小野梓を記念し、経済的に修学困難な学生を援助することを目的とします。 | (年額) 400,000円 | ・標準修業年限内在籍者(家計状況・学業成績・人物) |

| | | | | |
|-----------------------|--|--|---|-----------------------------------|
| | 校友会給付一般 奨学金 【給付】 | 早稲田大学卒業生で組織する 校友会の寄付からなる奨学金 で、経済的に修学困難な学生 を援助することを目的とします。 | (年額) 400,000 円 | ・標準修業年限内在籍者 (家計状況・学業成績・ 物) |
| | 指定寄付奨学金 【給付】 | 校友や篤志家など本学を支援する多くの方々の寄付からなる奨学金です。本法科大学院の学生が利用可能な奨学金が数種類あります。奨学金によって奨学金額・出願資格が異なります。(詳細は、「奨学金情報 Challenge」参照) | | |
| 学 外 奨 学 金 | 日本学生支援機 構 第一種奨学金 (無利子) 第二種奨学金 (有利子) 【貸与】 | 国の育英奨学事業で、経済的 理由により修学困難な者に学 資を貸与することによって、教育 の機会均等を図るとともに、社 会に貢献する人材を育成するこ とを目的とします。 | ●第一種 (月額) 88,000 円 50,000 円 ●第二種 (月額) 50,000 円 80,000 円 100,000 円 130,000 円 150,000 円 190,000 円 220,000 円 から希望額を選 択。標準修業年 限内継続して貸 与されます。(金 額は2026年度 実績) | ・標準修業年限内在籍者 (学業成績・家計状況・人 物) |
| | 地方公共団体・民 間団体の奨学金 【給付・貸与】 | 団体によって奨学金額・出願資格が異なります。(詳細は、「奨学金情報 Challenge」参照) | | |

(2)「稲門法曹奨学金」について

学外・学内からの寄付・出資により運営されている給付奨学金です。

対象者:2027年4月に本法科大学院に特別選抜または一般選抜で入学する学業成績が優秀な者

給付金額:年間授業料相当額(全免)、秋学期授業料相当額(半免)の2種類

採用人数:年間授業料相当額(全免)23名相当分

採用方法:入試結果を勘案し、奨学生を内定予定

発表方法:給付対象者(内定者)にのみ郵送にて通知します。

※特別選抜(5年一貫型)合格による採用者は、原則として2年間の継続採用とし(ただし、学業成績により、進級時に継続の可否及び給付金額の判定を行う)、特別選抜(開放型)・一般選抜(法学既修者試験)合格による採用者は、単年度採用とします。

※特別選抜(開放型)および一般選抜入学者も、入学後の成績が優秀であった場合には、進級時に「稲門法曹奨学金」の給付対象者に選ばれることがあります(入学後採用)。

※休学・退学などの学籍異動があった場合、または奨学生として不適格と認められた場合には、原則として奨学金の採用を取り消し、奨学金の返還を求めます。

～「稲門法曹奨学金」の創設～

早稲田大学は、法律家の養成を目的として1882年に創設された東京専門学校法律学科以来、実学教育に力を注ぎ、長年にわたり、多数の優れた法曹を育成し、社会に輩出してきました。法科大学院の設立に当たり、私たちは、この伝統を受け継ぎ、進取の精神をもって法のもとに正義を貫く志の高い優れた稲門法曹（早稲田大学出身の法曹）を一人でも多く育成することを念願し、法曹として第一線で活躍されている校友及び関係者に募金を呼びかけ、法科大学院の学生のための奨学金として「稲門法曹奨学金」を創設いたしました。1951年（昭和26年）以降に司法試験に合格された稲門法曹は5,000名以上にのぼりますが、本学の同窓会組織である「稲門法曹会」の協力を得ながら、「稲門法曹奨学金のための募金のお願い」をお送りしました。そして、この募金の呼びかけに応じて、多額のご厚志が寄せられております。この募金に示されている稲門法曹の熱意は、法科大学院に学ぶ将来の稲門法曹である学生諸君に対する温かい支援であり、本法科大学院の法曹養成教育に対する期待でもあると考えております。

<稲門法曹奨学金の交換留学生優先枠(LL.M.コース)について>

出願時点で以下の条件を満たし、かつ交換留学を行う強い意志を持つ者について、概ね5名を優先的に入学後の留学先への派遣を内定する「稲門法曹奨学金の交換留学生優先枠(LL.M.コース)」を設けます。

この制度は、本法科大学院が交換協定を締結している米国のロースクール、とりわけ LL. M. コース(法学修士コース)に1年間の交換留学を行い、米国の司法試験を受験する意志のある者に対して適用します。

(申請条件)

以下の①、②の基準を両方満たし、出願時に交換留学生優先枠の利用を申請する志願者

①「学士(法学)」の学位を取得している者または本学入学までに取得見込の者

②出願時点より2年以内に受験した語学テスト(TOEFL・IELTS)において、

TOEFL:2026年1月20日以前に受験した方はiBT85点以上、2026年1月21日以降に受験した方はバンドスコア(Total)が4.5以上(いずれもITPテスト不可)またはIELTS:6.5以上のスコアを有していること

※入学試験に合格した本制度申請者の中から、英語のスコア等を総合的に考慮して本制度の内定者を決定します。

※本制度に内定した者は、入学後、優先的に交換留学の対象となります。なお、本制度に申請せずに入学した学生についても、入学後の留学生選考に応募することができます。

※本制度により交換留学が決定した学生に対し、留学出発年度の稲門法曹奨学金(秋学期授業料相当額)を給付します。ただし、入学後のGPAが一定の基準を下回る場合はその限りではありません。

(注意事項)

・本制度に申請の上、内定した者にはその旨の通知がされます。ただし、入学後に行われる交換留学生選考には別途申請する必要があります。

・入学後の交換留学生選考にあたっては、最終的に TOEFL iBT テストで学内での基準を満たす成績を収める必要があります。また、本法科大学院における学業成績がすぐれない場合には、TOEFLの成績にかかわらず、優先的な交換留学の選考対象にはなりません。

・法学既修者として入学し、留学した場合、帰国後は本法科大学院に復学し所定の単位を修める必要があるため、3年間の在学を要します。

- ・入学試験に合格した時点では、特定の大学への留学が保証されるものではありません。各大学の留学枠の増減や、留学生選考の結果により、希望する大学に留学できない可能性があります。
- ・「留学」の在留資格により本学に入学する外国人留学生は、そこから更に海外の大学に留学することは認められないため、優先選抜制度の申請はできません（交換留学制度自体、利用できません）。ただし日本の大学で「学士（法学）」を取得している者、または本学入学までに取得見込みの者はこの限りではありません。
- ・本制度を利用するためには、出願時に上記語学テストの公式証明書を「能力証明資料」として提出する必要があります。各団体の試験日程等を確認の上、受験・証明書の取り寄せは余裕を持って行ってください。
- ・本制度への申請にあたり、入試の出願形態は問いません。

<「稲門法曹奨学金」も同時に内定している場合>

特別選抜（5年一貫型）の場合、留学から帰国した年度に「稲門法曹奨学金」が給付されるため、在学中～留学期間～帰国後まで「稲門法曹奨学金」が3年間継続給付されます。

| | |
|----------------|------------------------|
| 1年目（2年生） | 「稲門法曹奨学金」を給付 |
| 2年目（3年生/夏から留学） | 「稲門法曹奨学金（交換留学生優先枠）」を給付 |
| 3年目（夏に帰国/4年生） | 「稲門法曹奨学金」を給付（※） |

※ただし、成績により、継続・給付金額の判定を行います。

※特別選抜（開放型）・一般選抜入学者は、単年度採用のため、3年目には給付されません。

(3)「池田正範奨学金」について

本学校友である故 池田 正範（いけだ まさのり）氏からの遺贈による寄付金をもって、池田正範奨学金を給付します。

対象者：本学法学部を2027年3月に卒業し、同年4月に本法科大学院に法学既修者として特別選抜または一般選抜で入学する学業成績が優秀な者

給付金額：70万円（単年給付）

採用人数：7名

採用方法：学部の学業成績を勘案し、奨学生を内定予定

発表方法：給付対象者（内定者）のみ郵送にて通知

※稲門法曹奨学金と重複して給付を受けることが可能。ただし、上限は学費相当額とする。

(4)「千賀修一法曹養成奨学金」について

本学校友である千賀 修一（せんが しゅういち）氏からのご厚志による寄付金をもって、千賀修一法曹養成奨学金を給付します。

対象者：本学学部（すべての学部）を2027年3月に卒業し、同年4月に本法科大学院に特別選抜または一般選抜で入学する学業成績が優秀な者

給付金額：70万円（単年給付）

採用人数：1名

採用方法：入試結果を勘案し、奨学生を内定予定

発表方法：給付対象者（内定者）のみ郵送にて通知

※稲門法曹奨学金と重複して給付を受けることが可能。ただし、上限は学費相当額とする。

(5)「周藤保夫法曹養成奨学金」について

本学校友である周藤 保夫(すどう やすお)氏からのご厚志による寄付金をもって、周藤保夫法曹養成奨学金を給付します。

対象者:本学法学部を2027年3月に卒業し、同年4月に本法科大学院に特別選抜または一般選抜で入学する学業成績が優秀な者

給付金額:70万円(単年給付)

採用人数:5名

採用方法:入試結果を勘案し、奨学生を内定予定

発表方法:給付対象者(内定者)のみ郵送にて通知

※稲門法曹奨学金と重複して給付を受けることが可能。ただし、上限は学費相当額とする。

(6)「法曹支援奨学金」について

本学校友(匿名)からのご厚志による寄付金をもって、法曹支援奨学金を給付します。

対象者:2027年4月に本法科大学院に特別選抜または一般選抜で入学する者

給付金額:70万円(単年給付)

採用人数:3名

採用方法:入試結果を勘案し、奨学生を内定予定

発表方法:給付対象者(内定者)のみ郵送にて通知

※稲門法曹奨学金と重複して給付を受けることが可能。ただし、上限は学費相当額とする。

(7)日本学生支援機構奨学金(第一種・第二種)の予約採用制度について

本法科大学院に入学することが決定した場合、日本学生支援機構奨学金予約採用制度(第一種・第二種)に申し込むことで、大学院入学前に奨学金採用の内定を受けることができます。

※詳細は、合格者発表以降に本法科大学院アドミッションズ・オフィスよりお知らせします(12月中旬予定)。

※申し込み多数の場合、採用枠の都合により(収入基準内であっても)内定を受けることができない場合があります。

※入学を辞退した場合、内定は取り消されます。

(8)提携金融機関(オリコ・楽天銀行)による学費ローン制度(入学時)

本学には、(株)オリエンタコーポレーション、楽天銀行株式会社と提携した学費ローン制度があり、入学時納入費に利用することができます。なお、本学費ローン利用にあたっては、自己責任のもと、申込期日や手続日等の日程に注意して手続をしてください。詳細は本学奨学課Webサイトでご確認ください。

(9) 国の教育ローン(日本政策金融公庫 国民生活事業)

「国の教育ローン」とは、研究科入学・在学中にかかる諸費用を対象に保護者に融資する公的な制度です。学生1人あたり350万円以内を低利で利用でき、在学期間内の元本据置ができます。詳細は、日本政策金融公庫国民生活事業「国の教育ローン」コールセンターまでお問い合わせいただくか、またはWebサイトをご覧ください。

- ・ 日本政策金融公庫国民生活事業「国の教育ローン」Webサイト
<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>
- ・ 「国の教育ローン」コールセンター
0570-008656(ナビダイヤル)
月～金 9時～19時(土日祝日、年末年始を除く)
※上記番号が利用できない場合 03-5321-8656

(10) 教育訓練給付金制度

教育訓練給付金制度とは、一定の受給要件を満たす方が、厚生労働大臣の指定を受けた教育訓練を受講・修了した場合に、その費用の一部が教育訓練給付金として支給される制度です。本法科大学院の3年標準課程および2年短縮課程は、「専門実践教育訓練指定講座」の指定を受けています。教育訓練給付金制度および受給資格、支給申請手続の詳細については、以下の厚生労働省Webサイトを参照してください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html

15. 大学コード(50音順)

| 【国立大学】 | | | | | |
|----------|------|-----------|------|---------------|------|
| 愛知教育大学 | 0044 | 埼玉大学 | 0019 | 長岡技術科学大学 | 0084 |
| 秋田大学 | 0012 | 佐賀医科大学 | 0087 | 長崎大学 | 0073 |
| 旭川医科大学 | 0006 | 佐賀大学 | 0107 | 名古屋工業大学 | 0045 |
| 茨城大学 | 0015 | 滋賀医科大学 | 0080 | 名古屋大学 | 0043 |
| 岩手大学 | 0009 | 滋賀大学 | 0047 | 奈良教育大学 | 0056 |
| 宇都宮大学 | 0017 | 静岡大学 | 0042 | 奈良女子大学 | 0057 |
| 愛媛大学 | 0066 | 島根医科大学 | 0083 | 奈良先端科学技術大学院大学 | 0099 |
| 大分医科大学 | 0088 | 島根大学 | 0104 | 鳴門教育大学 | 0095 |
| 大分大学 | 0108 | 上越教育大学 | 0089 | 新潟大学 | 0035 |
| 大阪外国語大学 | 0052 | 信州大学 | 0040 | 浜松医科大学 | 0079 |
| 大阪教育大学 | 0053 | 政策研究大学院大学 | 0100 | 一橋大学 | 0033 |
| 大阪大学 | 0051 | 総合研究大学院大学 | 0097 | 兵庫教育大学 | 0092 |
| 岡山大学 | 0061 | 千葉大学 | 0020 | 弘前大学 | 0008 |
| 小樽商科大学 | 0004 | 筑波大学 | 0016 | 広島大学 | 0062 |
| お茶の水女子大学 | 0031 | 筑波技術大学 | 0111 | 福井医科大学 | 0090 |
| 帯広畜産大学 | 0005 | 電気通信大学 | 0032 | 福井大学 | 0103 |
| 香川医科大学 | 0093 | 東京医科歯科大学 | 0022 | 福岡教育大学 | 0068 |
| 香川大学 | 0105 | 東京海洋大学 | 0102 | 福島大学 | 0014 |
| 鹿児島大学 | 0077 | 東京外国語大学 | 0023 | 北陸先端科学技術大学院大学 | 0098 |
| 金沢大学 | 0037 | 東京科学大学 | 0112 | 北海道教育大学 | 0002 |
| 鹿屋体育大学 | 0096 | 東京学芸大学 | 0024 | 北海道大学 | 0001 |
| 北見工業大学 | 0007 | 東京教育大学 | 0027 | 三重大学 | 0046 |
| 岐阜大学 | 0041 | 東京芸術大学 | 0026 | 宮城教育大学 | 0011 |
| 九州芸術工科大学 | 0070 | 東京工業大学 | 0028 | 宮崎医科大学 | 0081 |
| 九州工業大学 | 0071 | 東京商船大学 | 0029 | 宮崎大学 | 0109 |
| 九州大学 | 0069 | 東京水産大学 | 0030 | 室蘭工業大学 | 0003 |
| 京都教育大学 | 0049 | 東京大学 | 0021 | 山形大学 | 0013 |
| 京都工芸繊維大学 | 0050 | 東京農工大学 | 0025 | 山口大学 | 0063 |
| 京都大学 | 0048 | 東北大学 | 0010 | 山梨医科大学 | 0091 |
| 熊本大学 | 0074 | 徳島大学 | 0064 | 山梨大学 | 0101 |
| 群馬大学 | 0018 | 図書館情報大学 | 0094 | 横浜国立大学 | 0034 |
| 高知医科大学 | 0086 | 鳥取大学 | 0059 | 琉球大学 | 0078 |
| 高知大学 | 0106 | 富山医科薬科大学 | 0082 | 和歌山大学 | 0058 |
| 神戸商船大学 | 0055 | 富山大学 | 0110 | その他 | 9999 |
| 神戸大学 | 0054 | 豊橋技術科学大学 | 0085 | | |

【公立大学】

| | | | | | |
|----------|------|------------|------|-----------|------|
| 会津大学 | 1045 | 熊本県立大学 | 1032 | 名古屋市立大学 | 1013 |
| 愛知県立芸術大学 | 1012 | 群馬県立女子大学 | 1034 | 奈良県立医科大学 | 1023 |
| 愛知県立大学 | 1095 | 高知県立大学 | 1027 | 奈良県立大学 | 1041 |
| 青森公立大学 | 1044 | 神戸市外国語大学 | 1020 | 姫路工業大学 | 1022 |
| 大阪女子大学 | 1017 | 神戸商科大学 | 1021 | 兵庫県立看護大学 | 1046 |
| 大阪市立大学 | 1018 | 国際教養大学 | 1079 | 県立広島大学 | 1084 |
| 大阪公立大学 | 1115 | 札幌医科大学 | 1001 | 県立広島女子大学 | 1025 |
| 大阪府立大学 | 1019 | 静岡県立大学 | 1037 | 福井県立大学 | 1042 |
| 岡山県立大学 | 1047 | 静岡女子大学 | 1009 | 福岡県立大学 | 1043 |
| 沖縄県立芸術大学 | 1036 | 静岡薬科大学 | 1010 | 福岡女子大学 | 1030 |
| 金沢美術工芸大学 | 1006 | 下関市立大学 | 1026 | 福島県立医科大学 | 1002 |
| 北九州市立大学 | 1028 | 首都大学東京 | 1085 | 前橋工科大学 | 1057 |
| 岐阜薬科大学 | 1008 | 高崎経済大学 | 1003 | 宮崎公立大学 | 1048 |
| 九州歯科大学 | 1029 | 都留文科大学 | 1007 | 山口県立大学 | 1033 |
| 京都市立芸術大学 | 1014 | 東京都立科学技術大学 | 1035 | 横浜市立大学 | 1005 |
| 京都府立医科大学 | 1016 | 東京都立大学 | 1004 | 和歌山県立医科大学 | 1024 |
| 京都府立大学 | 1015 | 富山県立大学 | 1040 | その他 | 9999 |
| 釧路公立大学 | 1038 | 長崎県立大学 | 1092 | | |

【私立大学】

| | | | | | |
|-----------|------|----------|------|----------|------|
| 愛知医科大学 | 2166 | いわき明星大学 | 2336 | 大阪樟蔭女子大学 | 2211 |
| 愛知学院大学 | 2167 | 岩手医科大学 | 2016 | 大阪商業大学 | 2212 |
| 愛知学泉大学 | 2169 | 上野学園大学 | 2053 | 大阪体育大学 | 2213 |
| 愛知工業大学 | 2168 | 英知大学 | 2230 | 大阪電気通信大学 | 2214 |
| 愛知産業大学 | 2384 | 江戸川大学 | 2368 | 大阪薬科大学 | 2215 |
| 愛知淑徳大学 | 2301 | 追手門学院大学 | 2217 | 大谷大学 | 2186 |
| 愛知大学 | 2165 | 奥羽大学 | 2027 | 大妻女子大学 | 2054 |
| 愛知文教大学 | 2438 | 桜美林大学 | 2055 | 大手前大学 | 2231 |
| 愛知みずほ大学 | 2390 | 大阪医科大学 | 2202 | 岡山商科大学 | 2252 |
| 青森大学 | 2012 | 大阪大谷大学 | 2216 | 岡山理科大学 | 2253 |
| 青山学院大学 | 2051 | 大阪音楽大学 | 2203 | 沖縄国際大学 | 2298 |
| 旭川大学 | 2001 | 大阪学院大学 | 2204 | 沖縄大学 | 2297 |
| 朝日大学 | 2162 | 大阪経済大学 | 2205 | 嘉悦大学 | 2487 |
| 麻布大学 | 2141 | 大阪経済法科大学 | 2206 | 学習院女子大学 | 2437 |
| 亜細亜大学 | 2052 | 大阪芸術大学 | 2207 | 学習院大学 | 2056 |
| 足利工業大学 | 2030 | 大阪工業大学 | 2208 | 鹿児島国際大学 | 2295 |
| 芦屋大学 | 2229 | 大阪国際女子大学 | 2224 | 活水女子大学 | 2325 |
| 跡見学園女子大学 | 2034 | 大阪国際大学 | 2355 | 神奈川工科大学 | 2299 |
| 石巻専修大学 | 2360 | 大阪産業大学 | 2209 | 神奈川歯科大学 | 2143 |
| 茨城キリスト教大学 | 2028 | 大阪歯科大学 | 2210 | 神奈川大学 | 2142 |

| | | | | | |
|--------------|------|--------------|------|----------|------|
| 金沢医科大学 | 2154 | 近畿大学 | 2221 | 作新学院大学 | 2361 |
| 金沢学院大学 | 2340 | 金城学院大学 | 2170 | 札幌学院大学 | 2003 |
| 金沢工業大学 | 2156 | 国立音楽大学 | 2061 | 札幌国際大学 | 2386 |
| 金沢星陵大学 | 2155 | 熊本学園大学 | 2291 | 札幌大学 | 2002 |
| 鎌倉女子大学 | 2145 | 倉敷芸術科学大学 | 2414 | 産業医科大学 | 2314 |
| 川崎医科大学 | 2254 | くらしき作陽大学 | 2255 | 産業能率大学 | 2315 |
| 川崎医療福祉大学 | 2379 | 久留米工業大学 | 2308 | 至学館大学 | 2174 |
| 川村学園女子大学 | 2347 | 久留米大学 | 2276 | 志学館大学 | 2318 |
| 関西医科大学 | 2219 | グロービス経営大学院大学 | 2562 | 四国学院大学 | 2271 |
| 関西外国語大学 | 2220 | 敬愛大学 | 2044 | 四国大学 | 2269 |
| 関西大学 | 2218 | 慶應義塾大学 | 2062 | 自治医科大学 | 2031 |
| 関西学院大学 | 2232 | 恵泉女学園大学 | 2349 | 静岡理工科大学 | 2376 |
| 神田外語大学 | 2338 | 敬和学園大学 | 2375 | 実践女子大学 | 2068 |
| 関東学院大学 | 2144 | 工学院大学 | 2063 | 四天王寺大学 | 2222 |
| 関東学園大学 | 2305 | 皇学館大学 | 2185 | 芝浦工業大学 | 2069 |
| 北里大学 | 2057 | 甲子園大学 | 2233 | 就実大学 | 2319 |
| 吉備国際大学 | 2372 | 甲南女子大学 | 2235 | 秀明大学 | 2346 |
| 岐阜経済大学 | 2161 | 甲南大学 | 2234 | 淑徳大学 | 2043 |
| 岐阜女子大学 | 2163 | 神戸海星女子学院大学 | 2236 | 種智院大学 | 2193 |
| 岐阜聖徳学園大学 | 2164 | 神戸学院大学 | 2237 | 順天堂大学 | 2070 |
| 九州共立大学 | 2273 | 神戸芸術工科大学 | 2365 | 尚綱大学 | 2304 |
| 九州国際大学 | 2286 | 神戸国際大学 | 2247 | 城西国際大学 | 2381 |
| 九州産業大学 | 2274 | 神戸松蔭女子学院大学 | 2241 | 城西大学 | 2037 |
| 九州情報大学 | 2443 | 神戸女学院大学 | 2238 | 上智大学 | 2071 |
| 九州女子大学 | 2275 | 神戸女子大学 | 2239 | 湘南理工科大学 | 2146 |
| 九州東海大学 | 2289 | 神戸親和女子大学 | 2242 | 上武大学 | 2033 |
| 九州保健福祉大学 | 2458 | 神戸薬科大学 | 2240 | 常葉学園大学 | 2320 |
| 京都外国語大学 | 2187 | 高野山大学 | 2251 | 昭和音楽大学 | 2331 |
| 京都学園大学 | 2188 | 高知工科大学 | 2431 | 昭和女子大学 | 2073 |
| 京都光華女子大学 | 2192 | 郡山女子大学 | 2026 | 昭和大学 | 2072 |
| 京都産業大学 | 2189 | 國學院大学 | 2064 | 昭和薬科大学 | 2074 |
| 京都女子大学 | 2190 | 国際医療福祉大学 | 2409 | 女子栄養大学 | 2075 |
| 京都情報大学院大学 | 2547 | 国際基督教大学 | 2065 | 女子美術大学 | 2076 |
| 京都精華大学 | 2317 | 国際大学 | 2326 | 白百合女子大学 | 2077 |
| 京都造形芸術大学 | 2378 | 国際武道大学 | 2330 | 杉野服飾大学 | 2078 |
| 京都橘大学 | 2194 | 国士舘大学 | 2066 | 椋山女学園大学 | 2171 |
| 京都ノートルダム女子大学 | 2197 | 駒沢女子大学 | 2388 | 鈴鹿医療科学大学 | 2377 |
| 京都薬科大学 | 2191 | 駒澤大学 | 2067 | 駿河台大学 | 2337 |
| 共立女子大学 | 2058 | 埼玉医科大学 | 2036 | 成安造形大学 | 2391 |
| 共立薬科大学 | 2059 | 埼玉工業大学 | 2306 | 聖学院大学 | 2344 |
| 杏林大学 | 2060 | 相模女子大学 | 2147 | 聖カトリック大学 | 2357 |

| | | | | | |
|-------------|------|-----------------|------|-----------|------|
| 成蹊大学 | 2079 | 帝京科学大学 | 2369 | 東北芸術工科大学 | 2380 |
| 成城大学 | 2080 | 帝京大学 | 2094 | 東北工業大学 | 2020 |
| 聖心女子大学 | 2081 | 帝京平成大学 | 2339 | 東北女子大学 | 2013 |
| 清泉女子大学 | 2082 | 帝塚山学院大学 | 2225 | 東北生活文化大学 | 2023 |
| 聖徳大学 | 2367 | 帝塚山大学 | 2248 | 東北福祉大学 | 2021 |
| 西南学院大学 | 2277 | 天理大学 | 2249 | 東北薬科大学 | 2022 |
| 聖マリアンナ医科大学 | 2148 | 東亜大学 | 2267 | 東洋英和女学院大学 | 2363 |
| 聖隷クリストファー大学 | 2383 | 桐蔭横浜大学 | 2350 | 東洋学園大学 | 2382 |
| 聖路加看護大学 | 2083 | 東海学院大学 | 2323 | 東洋大学 | 2114 |
| 聖和大学 | 2243 | 東海大学 | 2095 | 東和大学 | 2280 |
| 摂南大学 | 2302 | 東京医科大学 | 2096 | 常磐大学 | 2328 |
| 専修大学 | 2084 | 東京音楽大学 | 2097 | 徳島文理大学 | 2270 |
| 洗足学園音楽大学 | 2149 | 東京家政学院大学 | 2099 | 徳山大学 | 2266 |
| 仙台大学 | 2018 | 東京家政大学 | 2098 | 獨協医科大学 | 2032 |
| 相愛大学 | 2223 | 東京基督教大学 | 2366 | 獨協大学 | 2040 |
| 創価大学 | 2085 | 東京経済大学 | 2100 | 常葉大学 | 2320 |
| 崇城大学 | 2290 | 東京工科大学 | 2334 | 富山国際大学 | 2370 |
| 園田学園女子大学 | 2244 | 東京工芸大学 | 2151 | 豊田工業大学 | 2324 |
| 第一工業大学 | 2296 | 東京国際大学 | 2035 | 中村学園大学 | 2281 |
| 第一薬科大学 | 2279 | 東京歯科大学 | 2101 | 長崎総合科学大学 | 2288 |
| 大正大学 | 2086 | 東京慈恵会医科大学 | 2102 | 長崎国際大学 | 2479 |
| 大同大学 | 2172 | 東京情報大学 | 2348 | 長野大学 | 2159 |
| 大東文化大学 | 2087 | 東京女子医科大学 | 2104 | 名古屋音楽大学 | 2307 |
| 高岡法科大学 | 2364 | 東京女子体育大学 | 2105 | 名古屋外国語大学 | 2353 |
| 高千穂大学 | 2088 | 東京女子大学 | 2103 | 名古屋学院大学 | 2177 |
| 宝塚大学 | 2341 | 東京神学大学 | 2106 | 名古屋経済大学 | 2316 |
| 拓殖大学 | 2089 | 東京成徳大学 | 2387 | 名古屋芸術大学 | 2178 |
| 玉川大学 | 2090 | 東京造形大学 | 2107 | 名古屋商科大学 | 2179 |
| 多摩大学 | 2362 | 東京電機大学 | 2108 | 名古屋女子大学 | 2180 |
| 多摩美術大学 | 2091 | 東京都市大学(旧武蔵工業大学) | 2129 | 名古屋造形大学 | 2371 |
| 筑紫女学園大学 | 2358 | 東京農業大学 | 2109 | 奈良産業大学 | 2332 |
| 千葉経済大学 | 2345 | 東京薬科大学 | 2110 | 奈良大学 | 2250 |
| 千葉工業大学 | 2045 | 東京理科大学 | 2111 | 南山大学 | 2182 |
| 千葉商科大学 | 2046 | 同志社女子大学 | 2196 | 新潟経営大学 | 2396 |
| 中央学院大学 | 2047 | 同志社大学 | 2195 | 新潟産業大学 | 2351 |
| 中央大学 | 2092 | 道都大学 | 2312 | 新潟薬科大学 | 2310 |
| 中京学院大学 | 2389 | 東邦音楽大学 | 2039 | 西九州大学 | 2287 |
| 中京大学 | 2173 | 桐朋学園大学 | 2113 | 西日本工業大学 | 2282 |
| 中部大学 | 2175 | 東邦大学 | 2112 | 二松学舎大学 | 2115 |
| 津田塾大学 | 2093 | 同朋大学 | 2176 | 日本医科大学 | 2117 |
| 鶴見大学 | 2150 | 東北学院大学 | 2019 | 日本経済大学 | 2278 |

| | | | | | |
|----------------|------|----------|------|------------------|------|
| 日本工業大学 | 2041 | 藤女子大学 | 2006 | 安田女子大学 | 2265 |
| 日本歯科大学 | 2118 | 富士大学 | 2017 | 山梨学院大学 | 2158 |
| 日本社会事業大学 | 2119 | 藤田保健衛生大学 | 2181 | 横浜商科大学 | 2153 |
| 日本獣医生命科学大学 | 2120 | 佛教大学 | 2199 | 四日市大学 | 2354 |
| 日本女子体育大学 | 2122 | 文化学園大学 | 2125 | 酪農学園大学 | 2011 |
| 日本女子大学 | 2121 | 文京学院大学 | 2374 | 立教大学 | 2137 |
| 日本赤十字看護大学 | 2335 | 文教大学 | 2042 | 立正大学 | 2138 |
| 日本大学 | 2116 | 別府大学 | 2293 | 立命館アジア太平洋大学 | 2480 |
| 日本体育大学 | 2123 | 法政大学 | 2126 | 立命館大学 | 2200 |
| 日本福祉大学 | 2183 | 北星学園大学 | 2007 | 龍谷大学 | 2201 |
| 日本文化大学 | 2313 | 北陸大学 | 2300 | 流通科学大学 | 2356 |
| 日本文理大学 | 2292 | 星薬科大学 | 2127 | 流通経済大学 | 2029 |
| ノースアジア大学 | 2025 | 北海商科大学 | 2309 | ルーテル学院大学 | 2124 |
| ノートルダム清心女子大学 | 2256 | 北海道医療大学 | 2005 | 麗澤大学 | 2049 |
| 梅花女子大学 | 2226 | 北海学園大学 | 2008 | LEC 東京リーガルマインド大学 | 2544 |
| 梅光学院大学 | 2268 | 北海道工業大学 | 2009 | 和光大学 | 2139 |
| 白鷗大学 | 2333 | 北海道情報大学 | 2359 | 早稲田大学 | 2140 |
| 函館大学 | 2004 | 北海道東海大学 | 2311 | 和洋女子大学 | 2050 |
| 羽衣国際大学 | 2509 | 北海道薬科大学 | 2010 | その他 | 9999 |
| 八戸工業大学 | 2014 | 松本歯科大学 | 2160 | | |
| 八戸大学 | 2321 | 松山東雲女子大学 | 2385 | 放送大学 | 0991 |
| 花園大学 | 2198 | 松山大学 | 2272 | | |
| 浜松大学 | 2352 | 三重中京大学 | 2327 | | |
| 阪南大学 | 2227 | 南九州大学 | 2294 | | |
| ビジネス・ブレークスルー大学 | 2556 | 美作大学 | 2257 | | |
| 姫路獨協大学 | 2342 | 宮城学院女子大学 | 2024 | | |
| 兵庫医科大学 | 2245 | 宮崎産業経営大学 | 2343 | | |
| 弘前学院大学 | 2015 | 武庫川女子大学 | 2246 | | |
| 広島経済大学 | 2259 | 武蔵大学 | 2128 | | |
| 広島工業大学 | 2260 | 武蔵野音楽大学 | 2130 | | |
| 広島国際学院大学 | 2263 | 武蔵野大学 | 2131 | | |
| 広島修道大学 | 2261 | 武蔵野美術大学 | 2132 | | |
| 広島女学院大学 | 2262 | 明海大学 | 2038 | | |
| 広島文教女子大学 | 2264 | 明治学院大学 | 2134 | | |
| フェリス女学院大学 | 2152 | 明治大学 | 2133 | | |
| 福井工業大学 | 2157 | 明治薬科大学 | 2135 | | |
| 福岡工業大学 | 2284 | 名城大学 | 2184 | | |
| 福岡歯科大学 | 2285 | 目白大学 | 2393 | | |
| 福岡女学院大学 | 2373 | 明星大学 | 2136 | | |
| 福岡大学 | 2283 | 桃山学院大学 | 2228 | | |
| 福山大学 | 2303 | 盛岡大学 | 2322 | | |

16. キャンパスマップ



<問い合わせ先>

早稲田大学法科大学院アドミッションズ・オフィス

[早稲田キャンパス8号館4階]

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1

Tel:03-5286-1687

Fax:03-3208-8690

Email: law-school-admission@list.waseda.jp

Web: <https://www.waseda.jp/folaw/gwls/>

<受付時間>

月～金 10:00～16:00

※大学が休日と定めている日は終日閉室となります。

2026年8月6日(木)～16日(日)は早稲田大学夏季一斉休業期間のため、事務取扱いはいたしませんのでご注意ください。